

科学研究費助成事業の審査システム改革について（中間まとめ）

平成 28 年 4 月 20 日
科学技術・学術審議会学術分科会
科学研究費補助金審査部会

1 はじめに

科学研究費助成事業（科研費）は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用に至るあらゆる学術研究（研究者の自由な発想に基づく研究）を対象とする唯一の競争的資金である。また、科研費は、研究者コミュニティから最も評価されている制度¹といっても過言ではなく、その信頼性を支える重要な要素は、昭和 43 年度に基本的な構造が形作られ、半世紀にわたって不断の改善が図られてきたピアレビューの審査システムである。

科研費に応募する研究者は、自ら立案した研究計画の内容に照らして審査を希望する分野を、「系・分野・分科・細目表」（以下「分科細目表」という。）から選択することとしている。「分科細目表」は、学術研究の動向等を踏まえて、これまで平成 5 年度から 5 年ごとに見直しを行ってきており、平成 28 年度公募においては 4 系・14 分野・79 分科・321 細目²から構成されている。

この「分科細目表」は、研究者の科研費への応募に当たって使用されるにとどまらず、審査システムの有り様をも規定している。科研費は、目的や規模に応じた複数の助成プログラム（研究種目）から成り立っているが【別紙①】、大部分の研究種目において、細目ごとの書面審査を経て、書面審査段階とは異なる審査委員によって分科等の単位で合議審査を行う方式を採用している。今般、科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会（以下「審査部会」という。）では、平成 30 年度の助成（平成 29 年 9 月に公募予定）に向けた科研費改革の一環として、これらの「分科細目表」及び上記の審査方式を中核的要素とする現行審査システムの抜本的な見直しを検討し、本案を取りまとめた。

2 検討の経緯

現行の科研費の審査システムは膨大な応募件数を迅速かつ公正に審査する仕組みとして研究者から大きな信頼を得ている。しかし、科研費への応募件数は年々増加し、その応募動向も徐々に変化しつつある。

¹ 例えば、科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP 定点調査 2014）」（科学技術・学術政策研究所）において、「科学研究費助成事業（科研費）における研究費の使いやすさ」について高い評価がなされている。

² 特に応募件数の多い「基盤研究（C）」では、キーワードにより分割した 432 の審査区分が設定されている。

このような状況に際し、審査区分の細分化、それによる学術動向の変遷に即した応募・審査の難しさなどの諸課題も生じてきたことから、審査部会では、「分科細目表」の在り方及び関連する制度について大幅な見直しを検討すべき旨提言し（平成25年10月8日付『系・分野・分科・細目表』の見直し並びに『時限付き分科細目』及び『特設分野』の設定に当たっての基本的な考え方）、日本学術振興会にその検討を要請した【別添①】。

これを踏まえ、日本学術振興会においては、平成25年12月より、学術システム研究センターが中心となって、学術研究やピアレビューの本義に立ち返って2年余りにわたり議論を進めてきた。この間、検討の進捗に応じて本部会へ状況報告を行うとともに、その際の意見も踏まえて検討を重ね、本年3月、審査区分と審査方式とを一体的に見直す改革提案を取りまとめた（平成28年3月17日付「科学研究費助成事業（科研費）審査システム改革2018（報告）」【別添②】）。

なお、日本学術振興会における検討と並行して、科学技術・学術審議会学術分科会においては、学術の現代的要請を踏まえつつ、科研費改革の基本的考え方について提言を取りまとめた（平成26年8月27日付「我が国の学術研究の振興と科研費改革について（第7期研究費部会における審議の報告）（中間まとめ）」）。文部科学省は、この提言に基づき、平成27年9月に「科研費改革の実施方針」を策定し、「審査システムの見直し」を科研費改革の重要な柱の一つとして位置付けた。

審査部会においては、今般、こうした一連の検討の中で確認された科研費の審査システムをめぐる諸課題を克服していく上で、日本学術振興会の「科学研究費事業（科研費）審査システム改革2018」は極めて有効であり、「科研費改革の実施方針」にも合致する重要な提言として、その実行が必要であるとの結論に至った。

3 審査システム改革の内容等

（1）改革の内容³

現行の「分科細目表」は、科研費の審査区分を示すものであり、学問分野を体系化したものではなく、また、大学の学科・専攻や学会の分野などに基づいているものでもない。この点を明瞭にするために、現行の「分科細目表」を廃止し、新たに「科研費審査区分表」【別紙②】を作成することとする。なお、「科研費審査区分表」では、研究種目に応じた審査区分（「小区分・中区分・大区分」）を設定しており、応募者が審査を希望する関連分野を柔軟に選択できることを企図している。

³ 本項は、日本学術振興会の改革提案「科学研究費助成事業（科研費）審査システム改革2018（報告）」に準拠した内容となっているが、当該提案の背景にある「改革にあたっての基本姿勢」を含め、詳細については別添②を参照されたい。

また、現在「分科細目表」と一体的に運用している審査方式についても研究種目の特性に応じた新しい方式を採用することとしている。以下に「科研費審査システム改革2018」の骨子と具体的な改革内容を示す。

－「科研費審査システム改革2018」の骨子－

個人の自由な発想に基づく多様な学術研究の一層の振興を図るために、学術の特性を踏まえ、以下のように科研費審査方式の見直しを行った【別紙③】、【別紙④】。

- 平成30年度科研費（平成29年9月に公募予定）からの審査は、「小区分・中区分・大区分」で構成される新しい審査区分で行う。それに伴い、現行の「系・分野・分科・細目表」は廃止する（新表は、「科研費審査区分表」と呼称）。
- 「基盤研究（B・C）」、「若手研究（B）」及び「挑戦的萌芽研究」の審査は304の「小区分」で行い、「2段階書面審査⁴」により採否を決定する。
- 「基盤研究（A）」及び「若手研究（A）」の審査は65の「中区分」で行い、「総合審査⁵」により採否を決定する。
- 「基盤研究（S）」の審査は11の「大区分」で行い、「総合審査」により採否を決定する。

① 「基盤研究（B・C）」等の審査区分（小区分）及び審査方式について

- 「基盤研究（B・C）」、「若手研究（B）」及び「挑戦的萌芽研究」のように現行1細目当たりの応募件数が多い研究種目については、学術の多様性に配慮し、これまでに醸成されてきた多様な学術に対応する審査区分として304の小区分を設定する。その際、小区分が固定化されたものではなく、学術研究の新たな展開や多様な広がりにも柔軟に対応できるよう、それぞれの小区分は、「〇〇関連」とし、応募者の選択の自由を確保する。キーワードも精選し、それぞれの区分の内容を網羅するものではなく、応募者の選択の参考のためのものとして位置付ける。ただし、応募件数が極端に多い小区分

⁴ 同一の審査委員が電子システム上で2段階にわたり書面審査を実施し（第1段階における各委員の審査意見を相互に参照した上で第2段階の評価を行う）、採否を決定する審査方式。

⁵ 書面審査委員全員が委員会に付託された全件の書面審査を行った上で、同一の審査委員が幅広い視点から合議により審査を実施し、採否を決定する審査方式。日本学術振興会では、平成26年度公募から「基盤研究（B・C）」に「特設分野研究」を設け、総合審査を導入し、その成果や課題の検証により、改革の実効性について検討を進めてきた。

では、複数の審査グループを設け、応募研究課題をランダムに振り分ける（機械的分割⁶）。

- 小区分では「2段階書面審査」により採否を決定する。書面審査を2段階にわたって行い、1段階目においては、審査委員全員が全ての応募研究課題を審査評価する。この結果に基づき採否のボーダーライン付近となった研究課題を対象として、同一の審査委員が改めて2段階目の審査を行い、評点を付す。その際、当該小区分の全ての審査委員の1段階目の審査意見等を参考とする。

②「基盤研究（A）」等の審査区分（中区分）及び審査方式について

- 「基盤研究（A）」及び「若手研究（A）」のように現行1細目当たりの応募件数が少ない研究種目については、より広い分野において競争的環境下で優れた研究課題の選定ができるよう、いくつかの小区分を集めて65の中区分を設定する。設定に当たっては、学術の多様性に配慮しつつ、相対評価ができることを基本とし、総合的な観点からの適切な審査ができることに留意する。各中区分に含まれている小区分の内容だけに縛られないことを示すために、各中区分には「○○及びその関連分野」との説明を付しており、応募者は自らの判断で、小区分にとらわれず中区分を選択できる。
- 中区分においては、「総合審査」を実施し、応募件数が多い場合には、「総合審査」ができる件数となるよう応募研究課題の機械的分割を行う。
- 「総合審査」においては、個別の小区分にとられることなく優れた研究課題が選定されるよう審査委員を選任する。審査委員は、全ての応募研究課題について書面審査を行った上で、同一の審査委員が合議審査の場で各応募研究課題について幅広い視点から議論し、審査する。これにより、特定の分野だけでなく、関連する分野から見て、その提案の創造性、独自性、実行可能性を多角的に見極めることにより、優れた研究課題を見出すことができると期待される。
- なお、審査終了後には、応募者に対し、「総合審査」の特質を活かして、研究計画に係る具体的な審査所見のフィードバック⁷を行う（後述「基盤研究（S）」でも同様）。これにより、研究計画の自主的な改善が期待される。

⁶ 応募件数が多数の細目において、審査委員の負担を軽減するために審査グループを複数設定し、応募研究課題をランダムに振り分けて審査を実施する。なお、応募研究課題は同一の研究機関からの応募に偏らないように配慮する。

⁷ 大型研究種目等以外の研究種目の不採択者に対しては、現行の審査システムにおいてもおおよその順位などの定型的な審査結果が開示されているが、研究計画に関する具体的な審査所見のフィードバックまでは行われていない。

③「基盤研究（S）」の審査区分（大区分）及び審査方式について

- 「基盤研究（S）」においても、相対評価ができることを基本とし、総合的な観点からの適切な審査ができることに留意し、いくつかの中区分を集めた11の大区分を設定する。これにより、適切な審査が可能で、競争的環境下において優れた研究課題の選定が期待される。
- 大区分においては、広い範囲の研究領域において審査することとなるため、「総合審査」を採用するとともに、応募件数が多い場合には、「総合審査」が可能な件数となるよう応募研究課題の機械的分割を行う。なお、審査の過程においては、専門性に配慮するため、専門分野に近い研究者が作成する審査意見書を活用する。

（2）期待される効果

- 以上のとおり、今般の審査システム改革は、研究計画の規模・研究種目の特性に応じ、適切な審査区分・審査方式を適用することにより、審査の質を高め、より独創的で優れた研究成果の創出を目指すものである。
- 学術の多様性を支える、小規模な研究計画（小区分、「2段階書面審査」を適用する「基盤研究（B・C）」、「若手研究（B）」及び「挑戦的萌芽研究」）については、集約され、整理された審査区分の下、より高い精度の書面審査を実施する。これにより、研究者の発想の自由度を高め、優れた研究課題をよりの確に選定することを通じ、既存分野の研究を深化させ、学術全体の多様性を一層豊かなものとするのが期待される。
- 幅広い波及効果・インパクトが期待される、大規模な研究計画（大区分・中区分、「総合審査」を適用する「基盤研究（S・A）」、「若手研究（A）」）については、大括り化した審査区分による競争的環境の下、より一層幅広い分野の研究者が、実質的な合議によって多角的な審査を実施する。これにより研究者の挑戦性・創造性に富んだ活動を促し、優れた研究課題をよりの確に選定することを通じ、新領域の開拓や分野を超えた連携など新たな学術の動向に即した研究の発展をけん引することが期待される。
- これらの改革は、応募者に止まらず、新しい審査システムに参画する審査委員の育成と確保にも寄与するものと期待される。学術コミュニティの各分野をリードする立場にある審査委員が、審査過程での相互のコミュニケーションを通じて学術の最新動向をめぐる知見を深め、相互の意見を尊重し、自らの創造的研究に率先して踏み出していくことの影響力は極めて大きいと期待される。

4 新しい審査システムへの移行に向けて

「科研費審査システム改革2018」については、今後、平成30年度の助成（平成29年9月に公募予定）からの新システムへの移行に向けて、本案に対する各界の意見を踏まえて審議を深め、本年中に最終的なとりまとめを行うことを目指したい。学術コミュニティに対しては、研究者の自律性に基づいた自由な発想による多様な学術研究の営みを体現する科研費の発展のため、積極的な理解と協力をお願いしたい。

また、審査システムの移行に向けては、「総合審査」の導入等に伴い、様々な関連措置や条件整備（研究費の基金化の推進、審査委員の育成と確保、審査負担の軽減ための方策等）が求められる。

「科研費改革の実施方針」においては、「審査システムの見直し」のほか、「研究種目・枠組みの見直し」、「柔軟かつ適正な研究費使用の促進」を大きな柱とし、それらを一体的に進めることとしている。特に研究種目については、研究費部会において、挑戦的研究に対する支援を強化する観点からの本格的な検討が始まっている⁸。今後、審査部会においては、科研費改革全体の整合性を保ちつつ、日本学術振興会との適切な連携・役割分担の下、引き続き審査システム改革の具体化に向けた検討を進めていきたい【別紙⑤】。

結びに、今般の審査システム改革は、我が国の研究力を支える科研費の不断の改善の一環であることを強調しておきたい。科研費が我が国の研究力を支えている現状を踏まえると、今回の審査システムの改革は、その向上への強力な推進力となる。しかし一方で、科研費の改革だけで「国力の源」たる学術研究を強固かつ豊かに発展させていくことには限界がある。今回の改革を実効あるものとするためには、学術研究及びそれを支える人材の育成を担っている大学・研究機関への基盤的経費の充実も喫緊の課題となる。政府に対しては、新たな第5期科学技術基本計画の実行にあたり、我が国の研究力向上をけん引する科研費の重要な役割を踏まえ、その拡充を図るとともに、「デュアルサポートシステムの再生⁹」に向けた適切な行財政措置を求めたい。

⁸ 研究費部会においては、①平成28年度に「挑戦的萌芽研究」を発展的に見直し、後継種目を創設する、②平成30年度以降、「特別推進研究」及び「若手研究（A）」を見直し、新制度を導入する方向で、それぞれ具体的な検討を開始している。

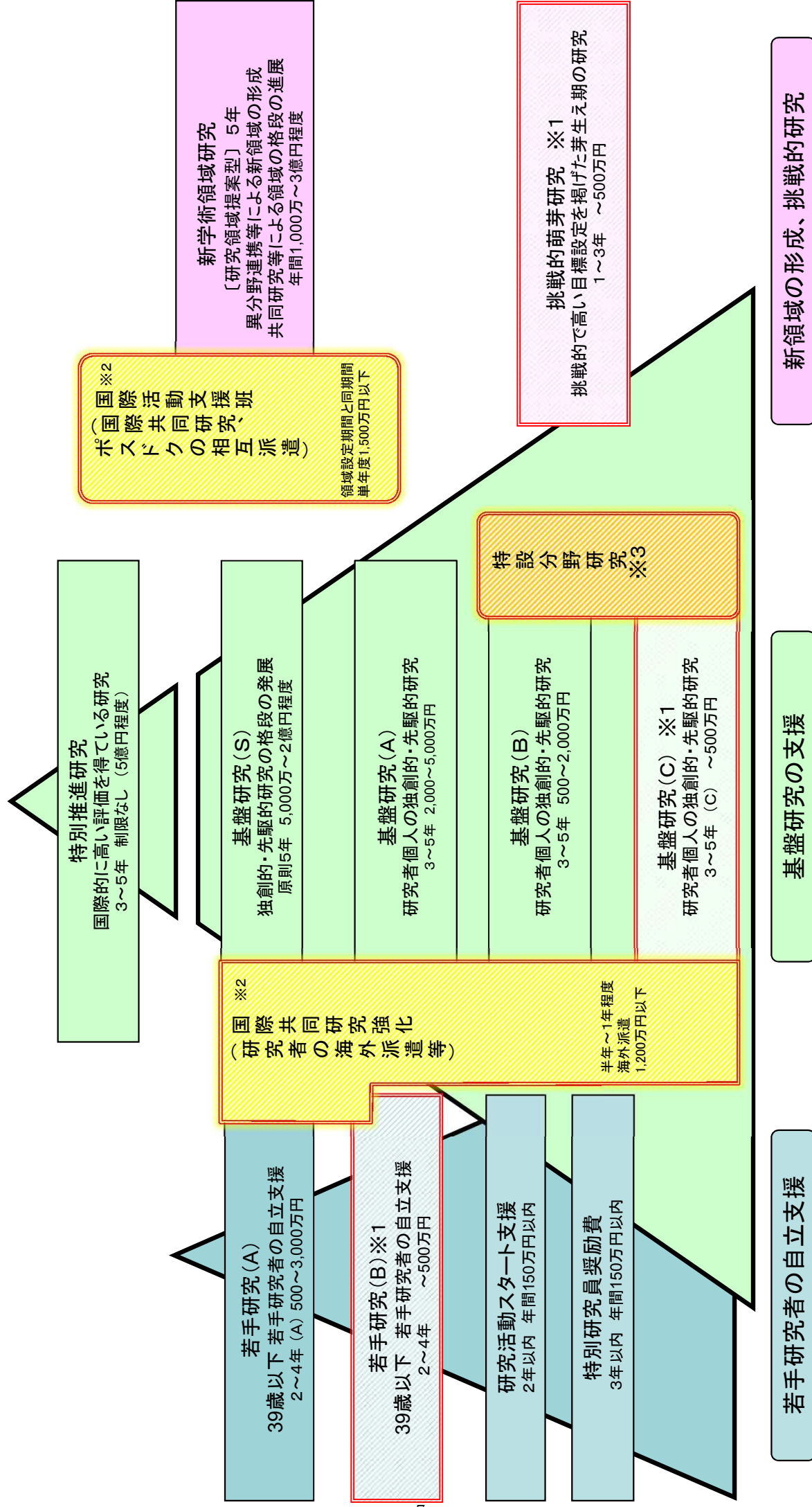
なお、「特別推進研究」の検討内容に関しては、審査部会がとりまとめ、研究費部会へ報告した文書（平成28年2月24日「科学研究費助成事業「特別推進研究」の今後のあり方について」）を参照。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/037/shiryo/1368099.htm

⁹ 「デュアルサポートシステム」の再生に向けた具体的な取組の方向性については、「学術研究の総合的な推進方策について」（平成27年1月27日 科学技術・学術審議会学術分科会）を参照。

科研費の研究種目体系

別紙①



※1・・・平成23年度より基金化した研究種目

※2・・・「国際共同研究加速基金」として平成27年度より基金にて予算措置

※3・・・「特設分野研究基金」として平成27年度より基金にて予算措置(審査は基礎B、Cの審査区分として実施し、研究期間は応募年度により応募可能な期間が異なる)

審査区分表(総表)

【複数の中区分、大区分に表れる小区分】

小区分番号	小区分名	対応する中区分	対応する大区分
02090	日本語教育関連	2, 9	A
02100	外国語教育関連	2, 9	A
80010	地域研究関連	4, 6	A
80020	観光学関連	4, 7, 8	A
80030	ジェンダー関連	4, 6, 8	A
80040	量子ビーム科学関連	14, 15	B
90010	デザイン学関連	1, 23, 61	A, C, J
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連	2, 62	A, J
90030	認知科学関連	10, 61	A, J
90110	生体医工学関連	90	D, I
90120	生体材料学関連	90	D, I
90130	医用システム関連	90	D, I
90140	医療技術評価学関連	90	D, I
90150	医療福祉工学関連	90	D, I

【複数の大区分に表れる中区分】

中区分番号	中区分名	対応する大区分
90	人間医工学およびその関連分野	D, I

大区分 A	
中区分1：思想、芸術およびその関連分野	
小区分	
01010	哲学および倫理学関連
01020	中国哲学、印度哲学および仏教学関連
01030	宗教学関連
01040	思想史関連
01050	美学および芸術論関連
01060	美術史関連
01070	芸術実践論関連
01080	科学社会学および科学技術史関連
90010	デザイン学関連
中区分2：文学、言語学およびその関連分野	
小区分	
02010	日本文学関連
02020	中国文学関連
02030	英文学および英語圏文学関連
02040	ヨーロッパ文学関連
02050	文学一般関連
02060	言語学関連
02070	日本語学関連
02080	英語学関連
02090	日本語教育関連
02100	外国語教育関連
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連
中区分3：歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野	
小区分	
03010	史学一般関連
03020	日本史関連
03030	アジア史およびアフリカ史関連
03040	ヨーロッパ史およびアメリカ史関連
03050	考古学関連
03060	文化財科学関連
03070	博物館学関連
中区分4：地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野	
小区分	
04010	地理学関連
04020	人文地理学関連
04030	文化人類学および民俗学関連
80010	地域研究関連
80020	観光学関連
80030	ジェンダー関連
中区分5：法学およびその関連分野	
小区分	
05010	基礎法学関連
05020	公法学関連
05030	国際法学関連
05040	社会法学関連
05050	刑事法学関連
05060	民事法学関連
05070	新領域法学関連

大区分 A (続き)	
中区分6：政治学およびその関連分野	
小区分	
06010	政治学関連
06020	国際関係論関連
80010	地域研究関連
80030	ジェンダー関連
中区分7：経済学、経営学およびその関連分野	
小区分	
07010	理論経済学関連
07020	経済学説および経済思想関連
07030	経済統計関連
07040	経済政策関連
07050	財政および公共経済関連
07060	金融およびファイナンス関連
07070	経済史関連
07080	経営学関連
07090	商学関連
07100	会計学関連
80020	観光学関連
中区分8：社会学およびその関連分野	
小区分	
08010	社会学関連
08020	社会福祉学関連
08030	生活文化関連
80020	観光学関連
80030	ジェンダー関連
中区分9：教育学およびその関連分野	
小区分	
09010	教育学関連
09020	教育社会学関連
09030	子ども学および保育学関連
09040	初等中等教育学関連
09050	高等教育学関連
09060	特別支援教育関連
09070	教育工学関連
02090	日本語教育関連
02100	外国語教育関連
中区分10：心理学およびその関連分野	
小区分	
10010	社会心理学関連
10020	教育心理学関連
10030	臨床心理学関連
10040	実験心理学関連
90030	認知科学関連

大区分B	
中区分11：代数学、幾何学およびその関連分野	
小区分	
11010	代数学関連
11020	幾何学関連
中区分12：解析学、応用数学およびその関連分野	
小区分	
12010	基礎解析学関連
12020	数理解析学関連
12030	数学基礎および統計関連
12040	応用数学関連
中区分13：物性物理およびその関連分野	
小区分	
13010	数理物理および物性基礎関連
13020	半導体、光物性および原子物理関連
13030	磁性、超伝導および強相関系関連
13040	生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連
中区分14：プラズマ学およびその関連分野	
小区分	
14010	プラズマ科学関連
14020	核融合学関連
14030	プラズマ応用科学関連
80040	量子ビーム科学関連
中区分15：素粒子、原子核、宇宙物理およびその関連分野	
小区分	
80040	量子ビーム科学関連
15010	素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論
15020	素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験
中区分16：天文学およびその関連分野	
小区分	
16010	天文学関連
中区分17：地球惑星科学およびその関連分野	
小区分	
17010	宇宙惑星科学関連
17020	大気水圏科学関連
17030	地球人間圏科学関連
17040	固体地球科学関連
17050	地球生命科学関連

大区分C	
中区分18：材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野	
小区分	
18010	材料力学および機械材料関連
18020	加工学および生産工学関連
18030	設計工学関連
18040	機械要素およびトライボロジー関連
中区分19：流体工学、熱工学およびその関連分野	
小区分	
19010	流体工学関連
19020	熱工学関連
中区分20：機械力学、ロボティクスおよびその関連分野	
小区分	
20010	機械力学およびメカトロニクス関連
20020	ロボティクスおよび知能機械システム関連
中区分21：電気電子工学およびその関連分野	
小区分	
21010	電力工学関連
21020	通信工学関連
21030	計測工学関連
21040	制御およびシステム工学関連
21050	電気電子材料工学関連
21060	電子デバイスおよび電子機器関連
中区分22：土木工学およびその関連分野	
小区分	
22010	土木材料、施工および建設マネジメント関連
22020	構造工学および地震工学関連
22030	地盤工学関連
22040	水工学関連
22050	土木計画学および交通工学関連
22060	土木環境システム関連
中区分23：建築学およびその関連分野	
小区分	
23010	建築構造および材料関連
23020	建築環境および建築設備関連
23030	建築計画および都市計画関連
23040	建築史および意匠関連
90010	デザイン学関連
中区分24：航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	
小区分	
24010	航空宇宙工学関連
24020	船舶海洋工学関連
中区分25：社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	
小区分	
25010	社会システム工学関連
25020	安全工学関連
25030	防災工学関連

大区分D	
中区分26：材料工学およびその関連分野	
小区分	
26010	金属材料物性関連
26020	無機材料および物性関連
26030	複合材料および界面関連
26040	構造材料および機能材料関連
26050	材料加工および組織制御関連
26060	金属生産および資源生産関連
中区分27：化学工学およびその関連分野	
小区分	
27010	移動現象および単位操作関連
27020	反応工学およびプロセスシステム工学関連
27030	触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連
27040	バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連
中区分28：ナノマイクロ科学およびその関連分野	
小区分	
28010	ナノ構造化学関連
28020	ナノ構造物理関連
28030	ナノ材料科学関連
28040	ナノバイオサイエンス関連
28050	ナノマイクロシステム関連
中区分29：応用物理物性およびその関連分野	
小区分	
29010	応用物性関連
29020	薄膜および表面界面物性関連
29030	応用物理一般関連
中区分30：応用物理工学およびその関連分野	
小区分	
30010	結晶工学関連
30020	光工学および光子科学関連
中区分31：原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野	
小区分	
31010	原子力工学関連
31020	地球資源工学およびエネルギー学関連
中区分90：人間医工学およびその関連分野	
小区分	
90110	生体医工学関連
90120	生体材料学関連
90130	医用システム関連
90140	医療技術評価学関連
90150	医療福祉工学関連

大区分E	
中区分32：物理化学、機能物性化学およびその関連分野	
小区分	
32010	基礎物理化学関連
32020	機能物性化学関連
中区分33：有機化学およびその関連分野	
小区分	
33010	構造有機化学および物理有機化学関連
33020	有機合成化学関連
中区分34：無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野	
小区分	
34010	無機・錯体化学関連
34020	分析化学関連
34030	グリーンサステナブルケミストリーおよび環境化学関連
中区分35：高分子、有機材料およびその関連分野	
小区分	
35010	高分子化学関連
35020	高分子材料関連
35030	有機機能材料関連
中区分36：無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	
小区分	
36010	無機物質および無機材料化学関連
36020	エネルギー関連化学
中区分37：生体分子化学およびその関連分野	
小区分	
37010	生体関連化学
37020	生物分子化学関連
37030	ケミカルバイオロジー関連

大区分 F	
中区分38：農芸化学およびその関連分野	
小区分	
38010	植物栄養学および土壌学関連
38020	応用微生物学関連
38030	応用生物化学関連
38040	生物有機化学関連
38050	食品科学関連
38060	応用分子細胞生物学関連
中区分39：生産環境農学およびその関連分野	
小区分	
39010	遺伝育種科学関連
39020	作物生産科学関連
39030	園芸科学関連
39040	植物保護科学関連
39050	昆虫科学関連
39060	生物資源保全学関連
39070	ランドスケープ科学関連
中区分40：森林圏科学、水圏応用科学およびその関連分野	
小区分	
40010	森林科学関連
40020	木質科学関連
40030	水圏生産科学関連
40040	水圏生命科学関連
中区分41：社会経済農学、農業工学およびその関連分野	
小区分	
41010	食料農業経済関連
41020	農業社会構造関連
41030	地域環境工学および農村計画学関連
41040	農業環境工学および農業情報工学関連
41050	環境農学関連
中区分42：獣医学、畜産学およびその関連分野	
小区分	
42010	動物生産科学関連
42020	獣医学関連
42030	動物生命科学関連
42040	実験動物学関連

大区分 G	
中区分43：分子生物学およびその関連分野	
小区分	
43010	分子生物学関連
43020	構造生物化学関連
43030	機能生物化学関連
43040	生物物理学関連
43050	ゲノム生物学関連
43060	システムゲノム科学関連
中区分44：細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野	
小区分	
44010	細胞生物学関連
44020	発生生物学関連
44030	植物分子および生理科学関連
44040	形態および構造関連
44050	動物生理化学、生理学および行動学関連
中区分45：多様性生物学、人類学およびその関連分野	
小区分	
45010	遺伝学関連
45020	進化生物学関連
45030	多様性生物学および分類学関連
45040	生態学および環境学関連
45050	自然人類学関連
45060	応用人類学関連
中区分46：神経科学およびその関連分野	
小区分	
46010	神経科学一般関連
46020	神経形態学関連
46030	神経機能学関連

大区分H	
中区分47：薬学およびその関連分野	
小区分	
47010	薬系化学および創薬科学関連
47020	薬系分析および物理化学関連
47030	薬系衛生および生物化学関連
47040	薬理学関連
47050	環境および天然医薬資源学関連
47060	医療薬学関連
中区分48：生体の構造と機能およびその関連分野	
小区分	
48010	解剖学関連
48020	生理学関連
48030	薬理学関連
48040	医化学関連
中区分49：病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野	
小区分	
49010	病態医化学関連
49020	人体病理学関連
49030	実験病理学関連
49040	寄生虫学関連
49050	細菌学関連
49060	ウイルス学関連
49070	免疫学関連

大区分I	
中区分50：腫瘍学およびその関連分野	
小区分	
50010	腫瘍生物学関連
50020	腫瘍診断および治療学関連
中区分51：ブレインサイエンスおよびその関連分野	
小区分	
51010	基盤脳科学関連
51020	認知脳科学関連
51030	病態神経科学関連
中区分52：内科学一般およびその関連分野	
小区分	
52010	内科学一般関連
52020	神経内科学関連
52030	精神神経科学関連
52040	放射線科学関連
52050	小児成育学関連
中区分53：器官システム内科学およびその関連分野	
小区分	
53010	消化器内科学関連
53020	循環器内科学関連
53030	呼吸器内科学関連
53040	腎臓内科学関連
53050	皮膚科学関連
中区分54：生体情報内科学およびその関連分野	
小区分	
54010	血液および腫瘍内科学関連
54020	膠原病およびアレルギー内科学関連
54030	感染症内科学関連
54040	代謝および内分泌学関連
中区分55：恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	
小区分	
55010	外科学一般および小児外科学関連
55020	消化器外科学関連
55030	心臓血管外科学関連
55040	呼吸器外科学関連
55050	麻酔科学関連
55060	救急医学関連
中区分56：生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野	
小区分	
56010	脳神経外科学関連
56020	整形外科学関連
56030	泌尿器科学関連
56040	産婦人科学関連
56050	耳鼻咽喉科学関連
56060	眼科学関連
56070	形成外科学関連

大区分 I (続き)	
中区分57：口腔科学およびその関連分野	
小区分	
57010	常態系口腔科学関連
57020	病態系口腔科学関連
57030	保存治療系歯学関連
57040	口腔再生医学および歯科医用工学関連
57050	補綴系歯学関連
57060	外科系歯学関連
57070	成長および発育系歯学関連
57080	社会系歯学関連
中区分58：社会医学、看護学およびその関連分野	
小区分	
58010	医療管理学および医療系社会学関連
58020	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む
58030	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない
58040	法医学関連
58050	基礎看護学関連
58060	臨床看護学関連
58070	生涯発達看護学関連
58080	高齢者看護学および地域看護学関連
中区分59：健康科学およびその関連分野	
小区分	
59010	リハビリテーション科学関連
59020	スポーツ科学関連
59030	健康教育および健康科学関連
中区分90：人間医工学およびその関連分野	
小区分	
90110	生体医工学関連
90120	生体材料学関連
90130	医用システム関連
90140	医療技術評価学関連
90150	医療福祉工学関連

大区分 J	
中区分60：情報科学、情報工学およびその関連分野	
小区分	
60010	情報学基礎論関連
60020	数理情報学関連
60030	統計科学関連
60040	計算機システム関連
60050	ソフトウェア関連
60060	情報ネットワーク関連
60070	情報セキュリティ関連
60080	データベース関連
60090	高性能計算関連
60100	計算科学関連
中区分61：人間情報学およびその関連分野	
小区分	
61010	知覚情報処理関連
61020	ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連
61030	知能情報学関連
61040	ソフトコンピューティング関連
61050	知能ロボティクス関連
61060	感性情報学関連
90010	デザイン学関連
90030	認知科学関連
中区分62：応用情報学およびその関連分野	
小区分	
62010	生命、健康および医療情報学関連
62020	ウェブ情報学およびサービス情報学関連
62030	学習支援システム関連
62040	エンタテインメントおよびゲーム情報学関連
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連

大区分 K	
中区分63：環境解析評価およびその関連分野	
小区分	
63010	環境動態解析関連
63020	放射線影響関連
63030	化学物質影響関連
63040	環境影響評価関連
中区分64：環境保全対策およびその関連分野	
小区分	
64010	環境負荷およびリスク評価管理関連
64020	環境負荷低減技術および保全修復技術関連
64030	環境材料およびリサイクル技術関連
64040	自然共生システム関連
64050	循環型社会システム関連
64060	環境政策および環境配慮型社会関連

審査区分表の見方について

○審査区分表は科研費の審査区分を示すもので、応募者が、自ら応募研究課題に最も相応しい審査区分を選択するためのものです。審査区分表は、学術分野を区分するものではありません。

○審査区分は、小区分、中区分、大区分の3つの区分からなります。

小区分は審査区分の基本単位であり、基盤研究（B, C）、若手研究（B）等の審査区分です。 小区分にはキーワードが付してありますが、これは、応募者が小区分の内容を理解する助けとするためのもので、キーワードに掲げられていない内容の応募を排除するものではありません。

中区分は、いくつかの小区分を集めたものであり、基盤研究（A）、若手研究（A）の審査区分です。 但し、中区分に含まれる小区分以外の内容の応募を排除するものではありません。なお、一部の小区分は複数の中区分に属しており、応募者は自らの応募研究課題に最も相応しいと思われる中区分を選択できます。

大区分は、いくつかの中区分を集めたものであり、基盤研究（S）の審査区分です。 但し、大区分に含まれる中区分以外の内容の応募を排除するものではありません。なお、一部の中区分は複数の大区分に属しており、応募者は自らの応募研究課題に最も相応しいと思われる大区分を選択できます。

○小区分、中区分、大区分での審査は、既存分野の深化と研究の多様な展開に柔軟に対応します。そのために、小区分では「○○関連」、中区分では「○○およびその関連分野」、大区分は記号で表記しています。

○審査区分表は、基本単位である小区分をまとめた**審査区分表（小区分一覧）**（別紙1）と、中区分、大区分の編成を示す**審査区分表（中区分、大区分一覧）**（別紙2）の2種類があります。この際、両者の関係がわかるように、審査区分表（小区分一覧）（別紙1）には「対応する中区分、大区分」欄を設け、各小区分について対応する中区分、大区分を示しています。但し、応募者は、小区分にとらわれずに、中区分、大区分を選択できます。

審査区分表(小区分一覧)

審査の基本単位である小区分の中には、複数の中区分や大区分に表れているものがあります。複数の中区分に表れている小区分は下表のとおり9つあり、関係する中区分番号を複数表記しています。このうち、大区分を複数表記している小区分は3つあります。

また、小区分番号 90110～90150 の5つの小区分は、対応する中区分は1つですが、それぞれ2つの大区分に対応しています。

審査区分として、中区分、大区分を選択するにあたっては、応募者は、別紙2の審査区分表（中区分、大区分一覧）を参照しつつ、自らの応募研究課題に最も相応しいと思われるものを選択してください。

【複数の中区分、大区分に表れる小区分】

小区分番号	小区分名	対応する中区分	対応する大区分
02090	日本語教育関連	2, 9	A
02100	外国語教育関連	2, 9	A
80010	地域研究関連	4, 6	A
80020	観光学関連	4, 7, 8	A
80030	ジェンダー関連	4, 6, 8	A
80040	量子ビーム科学関連	14, 15	B
90010	デザイン学関連	1, 23, 61	A, C, J
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連	2, 62	A, J
90030	認知科学関連	10, 61	A, J
90110	生体医工学関連	90	D, I
90120	生体材料学関連	90	D, I
90130	医用システム関連	90	D, I
90140	医療技術評価学関連	90	D, I
90150	医療福祉工学関連	90	D, I

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
01010	〔哲学および倫理学関連〕	1	A
	哲学一般、倫理学一般、西洋哲学、西洋倫理学、日本哲学、日本倫理学、応用倫理学		
01020	〔中国哲学、印度哲学および仏教学関連〕	1	A
	中国哲学思想、インド哲学思想、仏教思想、書誌学、文献学		
01030	〔宗教学関連〕	1	A
	宗教史、宗教哲学、神学、宗教社会学、宗教心理学、宗教人類学、宗教民俗学、神話学、書誌学、文献学		
01040	〔思想史関連〕	1	A
	思想史一般、西洋思想史、東洋思想史、日本思想史		
01050	〔美学および芸術論関連〕	1	A
	芸術哲学、感性論、各種芸術論		
01060	〔美術史関連〕	1	A
	日本美術、東洋美術、西洋美術、現代美術、工芸、デザイン、建築、服飾、写真		
01070	〔芸術実践論関連〕	1	A
	各種芸術表現法、アートマネジメント、芸術政策、芸術産業		
01080	〔科学社会学および科学技術史関連〕	1	A
	科学社会学、科学史、技術史、医学史、産業考古学、科学哲学、科学基礎論、科学技術社会論		
02010	〔日本文学関連〕	2	A
	日本文学一般、古代文学、中世文学、漢文学、書誌学、文献学、近世文学、近代文学、現代文学、関連文学理論		
02020	〔中国文学関連〕	2	A
	中国文学、書誌学、文献学、関連文学理論		
02030	〔英文学および英語圏文学関連〕	2	A
	英文学、米文学、英語圏文学、関連文学理論、書誌学、文献学		
02040	〔ヨーロッパ文学関連〕	2	A
	仏文学、仏語圏文学、独文学、独語圏文学、西洋古典学、ロシア東欧文学、その他のヨーロッパ語系文学、関連文学理論、書誌学、文献学		
02050	〔文学一般関連〕	2	A
	諸地域諸言語の文学、文学理論、比較文学、書誌学、文献学、文学教育		
02060	〔言語学関連〕	2	A
	音声音韻論、意味語用論、形態統語論、社会言語学、対照言語学、心理言語学、神経言語学、通時的研究、コーパス言語学、危機言語		
02070	〔日本語学関連〕	2	A
	音声音韻、表記、語彙と意味、文法、文体、語用論、言語生活、方言、日本語史、日本語学史		
02080	〔英語学関連〕	2	A
	音声音韻、語彙と意味、文法、文体、語用論、社会言語学、英語の多様性、コーパス研究、英語史、英語学史		
02090	〔日本語教育関連〕	2, 9	A
	学習者研究、言語習得、教材開発、カリキュラム評価、目的別日本語教育、バイリンガル教育、教師研究、日本語教育のための日本語研究、日本語教育史、異文化理解		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
02100	〔外国語教育関連〕	2, 9	A
	学習法、コンピュータ支援学習（CALL）、教材開発、言語テスト、第二言語習得論、早期英語教育、外国語教育政策史、カリキュラム評価、外国語教師養成、異文化理解		
03010	〔史学一般関連〕	3	A
	歴史理論、歴史学方法論、史料研究、記憶とメディア、世界史、交流史、比較史		
03020	〔日本史関連〕	3	A
	日本史一般、古代史、中世史、近世史、近現代史、地方史、文化史、宗教史、環境史、都市史、交流史、比較史、史料研究		
03030	〔アジア史およびアフリカ史関連〕	3	A
	中国前近代史、中国近現代史、東アジア史、中央ユーラシア史、東南アジア史、オセアニア史、南アジア史、西アジア史、アフリカ史、交流史、比較史、史料研究		
03040	〔ヨーロッパ史およびアメリカ史関連〕	3	A
	ヨーロッパ古代史、ヨーロッパ中世史、西ヨーロッパ近現代史、東ヨーロッパ近現代史、南北アメリカ史、交流史、比較史、史料研究		
03050	〔考古学関連〕	3	A
	考古学一般、先史学、歴史考古学、日本考古学、アジア考古学、古代文明学、物質文化学、実験考古学、情報考古学、埋蔵文化財研究		
03060	〔文化財科学関連〕	3	A
	年代測定、材質分析、製作技法、保存科学、遺跡探査、動植物遺体、人骨、文化遺産、文化資源、文化財政策		
03070	〔博物館学関連〕	3	A
	博物館展示学、博物館教育学、博物館情報学、博物館経営学、博物館行財政学、博物館資料論、博物館学史		
04010	〔地理学関連〕	4	A
	地理学一般、土地利用、景観、環境システム、地形学、気候学、水文学、地図学、地理情報システム、地域計画		
04020	〔人文地理学関連〕	4	A
	人文地理学一般、経済地理学、社会地理学、政治地理学、文化地理学、都市地理学、農村地理学、歴史地理学、地誌学、地理教育		
04030	〔文化人類学および民俗学関連〕	4	A
	文化人類学一般、民俗学一般、物質文化、生態、社会関係、宗教、芸術、医療、越境、マイノリティー		
80010	〔地域研究関連〕	4, 6	A
	地域研究一般、地域間比較、援助、国際協力、地域間交流、環境、トランスナショナリズム、グローバリゼーション		
80020	〔観光学関連〕	4, 7, 8	A
	観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼		
80030	〔ジェンダー関連〕	4, 6, 8	A
	ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画		
05010	〔基礎法学関連〕	5	A
	法哲学・法理学、ローマ法、法制史、法社会学、比較法、外国法、法政策学、法と経済、司法制度論		
05020	〔公法学関連〕	5	A
	憲法、行政法、租税法		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
05030	〔国際法学関連〕	5	A
	国際公法、国際私法、国際人権法、国際経済法、EU法		
05040	〔社会法学関連〕	5	A
	労働法、経済法、社会保障法、教育法		
05050	〔刑事法学関連〕	5	A
	刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、少年法、法と心理		
05060	〔民事法学関連〕	5	A
	民法、商法、民事訴訟法、倒産法、紛争処理法制		
05070	〔新領域法学関連〕	5	A
	環境法、医事法、情報法、消費者法、知的財産法、法とジェンダー、法曹論		
06010	〔政治学関連〕	6	A
	政治理論、政治思想史、政治史、日本政治史、現代日本政治、政治過程論、選挙研究、政治経済学、行政学、地方自治、比較政治、公共政策		
06020	〔国際関係論関連〕	6	A
	国際関係理論、現代国際関係、外交史、国際関係史、対外政策論、安全保障論、国際政治経済論、グローバルガバナンス論、国際協力論		
07010	〔理論経済学関連〕	7	A
	ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、行動経済学、実験経済学、経済理論、進化経済学、経済制度、経済体制		
07020	〔経済学説および経済思想関連〕	7	A
	経済学説、経済思想、社会思想、経済哲学		
07030	〔経済統計関連〕	7	A
	統計制度、統計調査、人口統計、所得分布、資産分布、国民経済計算、計量経済学、計量ファイナンス		
07040	〔経済政策関連〕	7	A
	国際経済学、産業組織論、経済発展論、都市経済学、リージョナルサイエンス、環境資源経済学、日本経済論、経済政策一般		
07050	〔財政および公共経済関連〕	7	A
	財政学、公共経済学、医療経済学、労働経済学、社会保障論、教育経済学、法と経済学、政治経済学		
07060	〔金融およびファイナンス関連〕	7	A
	金融論、ファイナンス、国際金融論、企業金融、金融工学		
07070	〔経済史関連〕	7	A
	経済史、経営史、産業史		
07080	〔経営学関連〕	7	A
	企業論、経営組織論、経営戦略論、経営管理論、人的資源管理論、技術経営論、国際経営論、経営情報論、経営工学、経営一般		
07090	〔商学関連〕	7	A
	マーケティング論、消費者行動論、流通論、商学一般		
07100	〔会計学関連〕	7	A
	財務会計論、管理会計論、監査論、会計一般		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
08010	〔社会学関連〕	8	A
	社会学一般、地域社会、家族、労働、福祉社会学、ジェンダー、メディア、エスニシティ、社会運動、社会調査法		
08020	〔社会福祉学関連〕	8	A
	ソーシャルワーク、社会福祉政策学、社会事業史、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、地域福祉、貧困、ボランティア、社会福祉学一般		
08030	〔生活文化関連〕	8	A
	生活文化、生活経営、消費生活、ライフスタイル、服飾文化、食文化、住環境、生活科学一般		
09010	〔教育学関連〕	9	A
	教育史、教育哲学、教育方法学、教育評価、教育指導者、学校教育、社会教育、職業教育訓練、生涯学習、教育制度		
09020	〔教育社会学関連〕	9	A
	教育社会学、社会化、教育組織、進路キャリア形成、階層格差、ジェンダー、教育政策、比較教育、国際開発		
09030	〔子ども学および保育学関連〕	9	A
	子ども学、保育学、子どもの権利、発達、保育の内容方法、子育て施設、保育者、保育子育て支援制度、こども文化、歴史と思想		
09040	〔初等中等教育学関連〕	9	A
	各教科の教育、教科外教育、生徒指導、キャリア教育、学校経営、教師教育、ESD、環境教育、リテラシー		
09050	〔高等教育学関連〕	9	A
	政策、入学者選抜、カリキュラム、学習進路支援、教職員、学術研究、地域連携貢献、国際化、大学経営、非大学型高等教育		
09060	〔特別支援教育関連〕	9	A
	理念と歴史、インクルージョンと共生社会、指導と支援、発達障害、情緒障害、知的障害、言語障害、身体障害、キャリア教育		
09070	〔教育工学関連〕	9	A
	カリキュラム開発、教授学習支援システム、メディアの活用、ICTの活用、教師教育、情報リテラシー		
10010	〔社会心理学関連〕	10	A
	社会心理学一般、自己、集団、態度行動、感情、対人関係、社会問題、文化		
10020	〔教育心理学関連〕	10	A
	教育心理学一般、発達、家庭、学校、臨床、パーソナリティ、学習、測定評価		
10030	〔臨床心理学関連〕	10	A
	臨床心理学一般、心理的障害、アセスメント、心理学的介入、養成訓練、健康、犯罪非行、コミュニティ		
10040	〔実験心理学関連〕	10	A
	実験心理学一般、感覚、知覚、注意、記憶、言語、情動、学習		
11010	〔代数学関連〕	11	B
	群論、環論、表現論、代数的組み合わせ論、数論、数論幾何学、代数幾何、代数解析、代数学一般		
11020	〔幾何学関連〕	11	B
	微分幾何学、リーマン幾何学、シンプレクティック幾何学、複素幾何学、位相幾何学、微分位相幾何学、低次元トポロジー、幾何学一般		
12010	〔基礎解析学関連〕	12	B
	函数解析学、複素解析、確率論、調和解析、作用素論、スペクトル解析、作用素環論、代数解析、表現論、基礎解析学一般		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
12020	〔数理解析学関連〕	12	B
	函数方程式論、実解析、力学系、変分法、非線形解析、応用解析一般		
12030	〔数学基礎および統計関連〕	12	B
	数学基礎論、情報理論、離散数学、ゲーム理論、統計数学、数学基礎一般		
12040	〔応用数学関連〕	12	B
	数値解析、数理モデル、最適制御、計算機数学、応用数学一般		
13010	〔数理物理および物性基礎関連〕	13	B
	統計物理、物性基礎論、数理物理、非平衡非線形物理、流体物理、計算物理、量子情報		
13020	〔半導体、光物性および原子物理関連〕	13	B
	半導体、誘電体、原子分子、メソスコピック系、結晶、表面界面、光物性、量子エレクトロニクス		
13030	〔磁性、超伝導および強相関係関連〕	13	B
	磁性、強相関電子系、超伝導、量子流体固体、分子性固体		
13040	〔生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連〕	13	B
	生命現象の物理、生体物質の物理、液体とガラス、ソフトマター、レオロジー		
14010	〔プラズマ科学関連〕	14	B
	基礎プラズマ、磁化プラズマ、レーザープラズマ、強結合プラズマ、プラズマ診断、宇宙天体プラズマ		
14020	〔核融合学関連〕	14	B
	プラズマ閉じ込め、プラズマ制御、プラズマ加熱、プラズマ計測、周辺プラズマ、プラズマ壁相互作用、慣性核融合、核融合材料、核融合システム学		
14030	〔プラズマ応用科学関連〕	14	B
	プラズマプロセス、プラズマフォトリクス、プラズマ材料科学、プラズマ応用一般		
80040	〔量子ビーム科学関連〕	14, 15	B
	加速器、ビーム物理、放射線検出器、計測制御、量子ビーム応用		
15010	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論〕	15	B
	素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力		
15020	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験〕	15	B
	素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力		
16010	〔天文学関連〕	16	B
	光学赤外線天文学、電波天文学、太陽物理学、位置天文学、理論天文学、X線γ線天文学		
17010	〔宇宙惑星科学関連〕	17	B
	太陽地球系科学、超高層物理学、惑星科学、系外惑星科学、地球外物質科学		
17020	〔大気水圏科学関連〕	17	B
	気候システム学、大気科学、海洋科学、陸水学、雪氷学、古気候学		
17030	〔地球人間圏科学関連〕	17	B
	自然環境科学、自然災害科学、地理空間情報学、第四紀学、資源および鉱床学		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
17040	〔固体地球科学関連〕	17	B
	固体地球物理学、地質学、地球内部物質科学、固体地球化学		
17050	〔地球生命科学関連〕	17	B
	生命の起源および進化学、極限生物学、生物地球化学、古環境学、古生物学		
18010	〔材料力学および機械材料関連〕	18	C
	構造力学、疲労、破壊、生体力学、材料設計、材料物性、材料評価		
18020	〔加工学および生産工学関連〕	18	C
	工作機械、機械加工、特殊加工、超精密加工、アディティブマニュファクチャリング、精密計測、生産システム、コンピュータ援用技術、工程設計		
18030	〔設計工学関連〕	18	C
	製品設計、サービス設計、信頼性設計、安全性設計、ライフサイクルエンジニアリング、リバーエンジニアリング、安全設計、設計学		
18040	〔機械要素およびトライボロジー関連〕	18	C
	機械要素、機構学、トライボロジー、アクチュエータ、マイクロマシン		
19010	〔流体工学関連〕	19	C
	流体機械、流体計測、数値流体力学、乱流、混相流、圧縮性流体、非圧縮性流体		
19020	〔熱工学関連〕	19	C
	伝熱、対流、燃焼、熱物性、冷凍空調、熱機関、エネルギー変換		
20010	〔機械力学およびメカトロニクス関連〕	20	C
	運動学、動力学、振動学、音響学、自動制御、学習制御、メカトロニクス、マイクロナノメカトロニクス、バイオメカニクス		
20020	〔ロボティクスおよび知能機械システム関連〕	20	C
	ロボティクス、知能機械システム、人間機械システム、ヒューマンインタフェース、プランニング、空間知能化システム、仮想現実感、拡張現実感		
21010	〔電力工学関連〕	21	C
	電気エネルギー関連、省エネルギー、電力系統工学、電気機器、パワーエレクトロニクス、電気有効利用、電磁環境		
21020	〔通信工学関連〕	21	C
	情報理論、非線形理論、信号処理、有線通信方式、無線通信方式、変復調、アンテナ、ネットワーク、マルチメディア通信、暗号		
21030	〔計測工学関連〕	21	C
	計測理論、計測機器、波動応用計測、システム化技術、信号情報処理、センシングデバイス		
21040	〔制御およびシステム工学関連〕	21	C
	制御理論、システム理論、制御システム、知能システム、システム情報処理、システム制御応用、バイオシステム工学		
21050	〔電気電子材料工学関連〕	21	C
	半導体、誘電体、磁性体、有機物、超伝導体、複合材料、薄膜、量子構造、厚膜、作製評価技術		
21060	〔電子デバイスおよび電子機器関連〕	21	C
	電子デバイス、回路設計、光デバイス、スピンデバイス、ミリ波テラヘルツ波、波動応用デバイス、ストレージ、ディスプレイ、微細プロセス技術、実装技術		
22010	〔土木材料、施工および建設マネジメント関連〕	22	C
	コンクリート、鋼材、複合材料、木材、舗装材料、補修補強材料、施工、維持管理、建設マネジメント、地下空間		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
22020	〔構造工学および地震工学関連〕	22	C
	応用力学、構造工学、鋼構造、コンクリート構造、複合構造、風工学、地震工学、耐震構造、地震防災		
22030	〔地盤工学関連〕	22	C
	土質力学、基礎工学、岩盤工学、土质地質、地盤の挙動、土構造物、地盤防災、地盤環境工学、トンネル工学、土壌環境		
22040	〔水工学関連〕	22	C
	水理学、環境水理学、水文学、河川工学、水資源工学、海岸工学、港湾工学、海洋工学		
22050	〔土木計画学および交通工学関連〕	22	C
	土木計画、地域都市計画、国土計画、防災計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、測量・リモートセンシング、景観デザイン、土木史		
22060	〔土木環境システム関連〕	22	C
	環境計画、環境システム、環境保全、用排水システム、廃棄物、水環境、大気循環、騒音振動、環境生態、環境モニタリング		
23010	〔建築構造および材料関連〕	23	C
	荷重論、構造解析、構造設計、各種構造、耐震設計、基礎構造、地盤、構造材料、維持管理、建築工法		
23020	〔建築環境および建築設備関連〕	23	C
	音環境、振動環境、光環境、熱環境、空気環境、環境心理生理、建築設備、火災工学、都市環境、環境設計		
23030	〔建築計画および都市計画関連〕	23	C
	計画論、設計論、住宅論、各種建物、都市計画、行政、建築経済、生産管理、防災計画、景観		
23040	〔建築史および意匠関連〕	23	C
	建築史、都市史、建築論、意匠、景観、保存、再生		
24010	〔航空宇宙工学関連〕	24	C
	熱流体力学、構造強度、推進、航空宇宙機設計、生産技術、航空機システム、特殊航空機、航行ダイナミクス、宇宙機システム、宇宙利用		
24020	〔船舶海洋工学関連〕	24	C
	航行性能、構造体力学、設計、生産技術、船用機関、海上輸送、海洋開発工学、海中工学、極地工学、海洋環境技術		
25010	〔社会システム工学関連〕	25	C
	社会システム、経営工学、オペレーションズリサーチ、インダストリアルマネジメント、信頼性工学、政策科学、規制科学、品質管理		
25020	〔安全工学関連〕	25	C
	安全工学、安全システム、リスク工学、リスクマネジメント、労働安全、製品安全、安全情報、人間工学、信頼性工学		
25030	〔防災工学関連〕	25	C
	災害予測、ハザードマップ、建造物防災、ライフライン防災、地域防災計画、災害リスク評価、防災政策、災害レジリエンス		
26010	〔金属材料物性関連〕	26	D
	電気磁気物性、電子情報物性、準安定状態、拡散、相変態、状態図、結晶格子欠陥、力学物性、熱光物性、材料計算科学		
26020	〔無機材料および物性関連〕	26	D
	機能性セラミックス、機能性ガラス、構造用セラミックス、カーボン系材料、結晶構造解析、組織制御、電気物性、力学物性、物理的・化学的性質、粒界物性		
26030	〔複合材料および界面関連〕	26	D
	機能性複合材料、構造用複合材料、生体用複合材料、複合高分子、表面処理、分散制御、接合、接着、界面物性、傾斜機能		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
26040	〔構造材料および機能材料関連〕 社会基盤構造材料、靱性、医療福祉材料、機能性高分子材料、信頼性、光機能材料、センサー材料、エネルギー材料、電池機能材料、環境機能材料	26	D
	〔材料加工および組織制御関連〕 加工成形、加工熱処理、結晶組織制御、レーザー加工、精密加工、研磨、粉末冶金、コーティング、めっき、腐食防食		
26050	〔金属生産および資源生産関連〕 分離精製、融解凝固、結晶成長、鋳造、資源保障確保、希少資源代替、低環境負荷、リサイクル、エコマテリアル、省エネルギー	26	D
	〔移動現象および単位操作関連〕 相平衡、輸送物性、移動速度論、流体系単位操作、吸着、膜分離、攪拌混合操作、粉粒体操作、晶析操作、製膜成形		
27010	〔反応工学およびプロセスシステム工学関連〕 反応操作論、新規反応場、反応機構、反応装置設計、材料合成プロセス、マイクロプロセス、プロセス制御、プロセスシステム設計、プロセス情報処理	27	D
	〔触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連〕 触媒反応論、触媒調製化学、触媒機能、エネルギー変換プロセス、エネルギー開発、省エネルギー技術、資源有効利用技術		
27020	〔触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連〕 触媒反応論、触媒調製化学、触媒機能、エネルギー変換プロセス、エネルギー開発、省エネルギー技術、資源有効利用技術	27	D
	〔バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連〕 生体触媒工学、生物機能応用工学、食品工学、医用化学工学、バイオ生産プロセス、ナノバイオプロセス、バイオリクター、バイオセパレーション、バイオセンサー、バイオリファイナリー		
27030	〔バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連〕 生体触媒工学、生物機能応用工学、食品工学、医用化学工学、バイオ生産プロセス、ナノバイオプロセス、バイオリクター、バイオセパレーション、バイオセンサー、バイオリファイナリー	27	D
	〔ナノ構造化学関連〕 ナノ構造作製、クラスター、ナノ粒子、メゾスコピック化学、超構造、ナノ表面、ナノ界面、自己組織化、ナノカーボン化学、分子デバイス、ナノ光デバイス		
27040	〔ナノ構造化学関連〕 ナノ構造作製、クラスター、ナノ粒子、メゾスコピック化学、超構造、ナノ表面、ナノ界面、自己組織化、ナノカーボン化学、分子デバイス、ナノ光デバイス	27	D
	〔ナノ構造物理関連〕 ナノ物性、ナノプローブ、量子効果、量子ドット、量子デバイス、電子デバイス、スピンデバイス、ナノトライボロジー、ナノカーボン物理		
28010	〔ナノ材料科学関連〕 ナノ材料創製、ナノ材料解析、ナノ表面、ナノ界面、ナノ機能材料、ナノ構造、ナノ粒子、ナノカーボン材料、ナノ結晶材料、ナノコンポジット、ナノ欠陥、ナノ加工プロセス	28	D
	〔ナノバイオサイエンス関連〕 バイオ分子デバイス、分子マニピュレーション、分子イメージング、ナノ計測、ナノ合成、1分子科学、ナノバイオインターフェース、バイオ分子アレイ、ゲノム工学		
28020	〔ナノバイオサイエンス関連〕 バイオ分子デバイス、分子マニピュレーション、分子イメージング、ナノ計測、ナノ合成、1分子科学、ナノバイオインターフェース、バイオ分子アレイ、ゲノム工学	28	D
	〔ナノマイクロシステム関連〕 MEMS、NEMS、BioMEMS、ナノマイクロ加工、ナノマイクロ光デバイス、ナノマイクロ化学システム、ナノマイクロバイオシステム、ナノマイクロ生体システム、ナノマイクロメカニクス、ナノマイクロセンサー		
28030	〔ナノマイクロシステム関連〕 MEMS、NEMS、BioMEMS、ナノマイクロ加工、ナノマイクロ光デバイス、ナノマイクロ化学システム、ナノマイクロバイオシステム、ナノマイクロ生体システム、ナノマイクロメカニクス、ナノマイクロセンサー	28	D
	〔応用物性関連〕 磁性体、超伝導体、誘電体、微粒子、有機分子、液晶、新機能材料、有機分子バイオエレクトロニクス、スピントロニクス		
28040	〔応用物性関連〕 磁性体、超伝導体、誘電体、微粒子、有機分子、液晶、新機能材料、有機分子バイオエレクトロニクス、スピントロニクス	28	D
	〔薄膜および表面界面物性関連〕 薄膜工学、薄膜エレクトロニクス、酸化物エレクトロニクス、真空、表面科学、分析、計測、ナノ顕微技術、表面界面制御、先端機器		
28050	〔薄膜および表面界面物性関連〕 薄膜工学、薄膜エレクトロニクス、酸化物エレクトロニクス、真空、表面科学、分析、計測、ナノ顕微技術、表面界面制御、先端機器	28	D
	〔応用物理一般関連〕 基本物理量、標準、単位、物理量計測、物理量検出、エネルギー変換		
29010	〔応用物理一般関連〕 基本物理量、標準、単位、物理量計測、物理量検出、エネルギー変換	29	D
	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学		
29020	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学	29	D
	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学		
29030	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学	29	D
	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学		
30010	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学	30	D
	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
30020	〔光工学および光量子科学関連〕	30	D
	光材料、光学素子、光物性、光情報処理、レーザー、光計測、光記録、光エレクトロニクス、非線形光学、視覚光学		
31010	〔原子力工学関連〕	31	D
	炉物理安全設計、熱流動構造、燃料材料、原子力化学、原子力ライフサイクル、放射線安全、放射線ビーム工学、核融合炉プラズマ工学、核融合炉機器材料工学、原子力社会環境		
31020	〔地球資源工学およびエネルギー学関連〕	31	D
	地球資源論、資源探査、資源開発、資源循環、資源経済、エネルギーシステム、環境負荷評価、再生可能エネルギー、資源エネルギー技術政策		
32010	〔基礎物理化学関連〕	32	E
	理論化学、分子分光、構造化学、電子状態動力学、化学反応ダイナミクス、表面・界面、クラスターとナノ物質、生体関連物理化学、液体構造ダイナミクス、固体物性、分子物性		
32020	〔機能物性化学関連〕	32	E
	光物性、スピン、デバイスと分子素子、超分子、液晶、結晶、表面・界面、微粒子、コロイド、電気化学、電子物性		
33010	〔構造有機化学および物理有機化学関連〕	33	E
	有機結晶、分子認識、超分子、有機機能物質、拡張 π 電子系化合物、複素環化学、有機元素化学、有機反応機構、有機光化学、理論有機化学		
33020	〔有機合成化学関連〕	33	E
	選択的合成、不斉合成、有機金属錯体、触媒設計、有機分子触媒、生体触媒、環境調和型合成、天然物合成、プロセス化学、有機電気化学		
34010	〔無機・錯体化学関連〕	34	E
	金属錯体化学、有機金属化学、無機固体化学、生物無機化学、溶液化学、クラスター、超分子、配位高分子、典型元素、機能物性		
34020	〔分析化学関連〕	34	E
	スペクトル分析、先端計測、表面・界面分析、分離分析、分析試薬、放射化学、電気化学分析、バイオ分析、新分析法		
34030	〔グリーンサステナブルケミストリーおよび環境化学関連〕	34	E
	グリーンプロセス、グリーン触媒、リサイクル、環境計測、環境調和型物質、環境負荷低減、環境修復、省資源、地球化学、環境放射能		
35010	〔高分子化学関連〕	35	E
	高分子合成、高分子反応、精密重合、機能性高分子、自己組織化高分子、キラル高分子、生体関連高分子、高分子物性、高分子構造、高分子薄膜・表面		
35020	〔高分子材料関連〕	35	E
	高分子材料物性、高分子材料合成、高分子機能材料、高分子液晶材料、繊維材料、ゴム材料、ゲル、生体関連高分子材料、高分子複合材料、高分子加工		
35030	〔有機機能材料関連〕	35	E
	有機半導体材料、液晶、光学材料、デバイス関連材料、導電機能材料、ハイブリッド材料、分子機能材料、有機複合材料、エネルギー変換材料		
36010	〔無機物質および無機材料化学関連〕	36	E
	結晶、アモルファス、セラミックス、半導体、無機デバイス関連材料、低次元化合物関連化学、多孔体関連化学、ナノ粒子関連化学、多元系化合物、ハイブリッド材料		
36020	〔エネルギー関連化学〕	36	E
	エネルギー資源、エネルギー変換材料、エネルギーキャリア関連、光エネルギー利用、物質分離、物質変換と触媒、電池と電気化学材料、省エネルギー材料、再生可能エネルギー、未利用エネルギー		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
37010	〔生体関連化学〕	37	E
	生物有機化学、生物無機化学、生体反応化学、生体機能化学、生体機能材料、バイオテクノロジー		
37020	〔生物分子化学関連〕	37	E
	天然物化学、生物活性分子、活性発現の分子機構、生体機能分子、コンビナトリアル化学、メタボローム解析		
37030	〔ケミカルバイオロジー関連〕	37	E
	生体内機能発現、生体内化学反応、創薬科学、化合物ライブラリー、構造活性相関、化学プローブ、分子計測、分子イメージング、プロテオミクス		
38010	〔植物栄養学および土壌学関連〕	38	F
	植物代謝生理、植物の栄養元素、土壌分類、土壌物理化学、土壌生物		
38020	〔応用微生物学関連〕	38	F
	微生物遺伝育種、微生物機能、微生物代謝生理、微生物利用、微生物制御、微生物生態、物質生産		
38030	〔応用生物化学関連〕	38	F
	細胞生化学、応用生化学、構造生物学、活性制御、代謝生理、細胞機能、分子機能、物質生産		
38040	〔生物有機化学関連〕	38	F
	生物活性物質、シグナル伝達調節物質、天然物化学、天然物生合成、構造活性相関、有機合成化学、ケミカルバイオロジー		
38050	〔食品科学関連〕	38	F
	食品機能、食品化学、栄養化学、食品分析、食品工学、食品衛生、機能性食品、栄養疫学、臨床栄養		
38060	〔応用分子細胞生物学関連〕	38	F
	分子細胞生物学、細胞生物工学、機能分子工学、発現制御、細胞分子間相互作用、細胞機能、物質生産		
39010	〔遺伝育種科学関連〕	39	F
	遺伝資源、育種理論、ゲノム育種、新規形質創生、品質成分、ストレス耐性、収量性、生殖増殖、生長生理、発生		
39020	〔作物生産科学関連〕	39	F
	土地利用型作物、作物収量、作物品質、作物形態、生育予測、作物生理、耕地管理、低コスト栽培技術、環境保全型農業、耕地生態系		
39030	〔園芸科学関連〕	39	F
	成長開花結実制御、種苗生産、作型、栽培技術、施設園芸、環境制御、品種開発、品質、ポストハーベスト、社会園芸		
39040	〔植物保護科学関連〕	39	F
	植物病理学、植物医科学、農業害虫、天敵、雑草、農薬、総合的有害生物管理		
39050	〔昆虫科学関連〕	39	F
	蚕糸昆虫利用学、昆虫遺伝、昆虫病理、昆虫生理生化学、昆虫生態、化学生態学、系統分類、寄生・共生、社会性昆虫、衛生昆虫		
39060	〔生物資源保全学関連〕	39	F
	保全生物、生物多様性保全、系統生物保全、遺伝子資源保全、生態系保全、在来種保全、微生物保全		
39070	〔ランドスケープ科学関連〕	39	F
	造園、緑地計画、景観計画、文化的景観、自然環境保全、ランドスケープエコロジー、公園緑地管理、公園、環境緑化、参加型まちづくり		
40010	〔森林科学関連〕	40	F
	森林生態、森林生物多様性、森林遺伝育種、造林、森林保護、森林環境、山地保全、森林計画、森林政策		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
40020	〔木質科学関連〕 組織構造、材質、リグノセルロース、微量成分、菌類、木材加工、バイオマスリファイナリー、木質材料、木造建築、林産教育	40	F
	〔水圏生産科学関連〕 水圏環境、漁業、水産資源管理、水圏生物、水圏生態系、水産増殖、水産工学、水産政策、水産経営経済、水産教育		
40030	〔水圏生命科学関連〕 水生生物栄養、水生生物病理、水生生物繁殖育種、水生生物生理、水生生物利用、水生生物化学、水生生物工学、水産食品科学	40	F
	〔食料農業経済関連〕 食料消費経済、農業生産経済、農林水産政策、フードシステム、食料マーケティング、国際農業開発、農畜産物貿易、農村資源環境		
41010	〔農業社会構造関連〕 農業経営組織、農業経営管理、農業構造、農業市場、農業史、農村社会、農村生活、協同組合	41	F
	〔地域環境工学および農村計画学関連〕 灌漑排水、農地整備、農村計画、地域環境、資源エネルギー循環、地域防災、農業用施設のストックマネジメント、水理水文、土壌物理、材料施工		
41020	〔農業環境工学および農業情報工学関連〕 生物生産施設、農業機械システム、生産環境調節、農業気象環境、農業情報システム、施設園芸、植物工場、農産物貯蔵流通加工、非破壊生体計測、遠隔計測情報処理	41	F
	〔環境農学関連〕 バイオマス、環境利用改善、生物多様性、環境分析、生態系サービス、資源循環システム、低炭素社会、ライフサイクルアセスメント、環境調和型農業、流域管理		
41030	〔動物生産科学関連〕 遺伝育種、繁殖、栄養飼養、形態生理、畜産物利用、環境管理、行動、アニマルセラピー	42	F
	〔獣医学関連〕 基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学、動物看護、動物福祉、野生動物		
42010	〔動物生命科学関連〕 恒常性、細胞機能、生体防御、総合遺伝、発生分化、生命工学	42	F
	〔実験動物学関連〕 遺伝子工学、発生工学、疾患モデル、施設整備、実験動物福祉、実験動物関連技術、バイオリソース		
42020	〔分子生物学関連〕 染色体機能、クロマチン、エピジェネティクス、遺伝情報の維持、遺伝情報の継承、遺伝情報の再編、遺伝情報の発現、タンパク質の機能調節	43	G
	〔構造生物化学関連〕 タンパク質、核酸、脂質、糖、生体膜、分子認識、変性、立体構造解析、立体構造予測、分子動力学		
43010	〔機能生物化学関連〕 酵素、糖鎖、生体エネルギー変換、生体微量元素、生理活性物質、細胞情報伝達、膜輸送、タンパク質分解、分子認識	43	G
	〔生物物理学関連〕 構造生物学、生体分子の物性、生体膜、光生物、分子モーター、生体計測、バイオイメージング、システム生物学、合成生物学、理論生物学		
43020	〔ゲノム生物学関連〕 ゲノム構造、ゲノム機能、ゲノム多様性、ゲノム分子進化、ゲノム修復維持、トランスオミックス、エピゲノム、遺伝子資源	43	G

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
43060	〔システムゲノム科学関連〕	43	G
	ネットワーク解析、合成生物学、バイオデータベース、バイオインフォマティクス、ゲノム解析技術、ゲノム生物学		
44010	〔細胞生物学関連〕	44	G
	細胞骨格、タンパク質分解、オルガネラの動態、核の構造機能、細胞外マトリックス、シグナル伝達、細胞周期、細胞運動、細胞間相互作用		
44020	〔発生生物学関連〕	44	G
	細胞分化、幹細胞、再生、胚葉形成、形態形成、器官形成、受精、生殖細胞、遺伝子発現調節、発生遺伝、進化発生		
44030	〔植物分子および生理科学関連〕	44	G
	光合成、成長生理、植物発生、オルガネラ、細胞壁、環境応答、植物微生物相互作用、代謝、植物分子機能		
44040	〔形態および構造関連〕	44	G
	分子形態、微細構造、組織構築、形態形成、生物形態、比較内分泌、顕微鏡技術、イメージング		
44050	〔動物生理化学、生理学および行動学関連〕	44	G
	代謝生理、神経生理、神経行動、行動生理、動物生理化学		
45010	〔遺伝学関連〕	45	G
	遺伝機構、分子遺伝、細胞遺伝、集団遺伝、進化遺伝、発生遺伝、行動遺伝、遺伝的多様性		
45020	〔進化生物学関連〕	45	G
	進化全般、分子進化、表現型進化、発生進化、生態進化、行動進化、実験進化、進化理論、共生進化、系統進化、種分化		
45030	〔多様性生物学および分類学関連〕	45	G
	分類形質、分類群、分類体系、多様性全般、系統、進化、自然史、種分化		
45040	〔生態学および環境学関連〕	45	G
	化学生態、分子生態、生理生態、進化生態、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系、保全生態、自然環境		
45050	〔自然人類学関連〕	45	G
	分子と遺伝、形態全般、骨考古全般、行動認知、生態、霊長類、進化、個体発生、変異		
45060	〔応用人類学関連〕	45	G
	生理人類学、人間工学、法医学人類学、医療人類学、生理的多型性、環境適応能全般、生体機能全般、生体計測全般		
46010	〔神経科学一般関連〕	46	G
	神経化学、神経細胞、グリア細胞、ゲノム、エピジェネティクス、神経生物、情報処理、シナプス、神経発生		
46020	〔神経形態学関連〕	46	G
	形態形成、脳構造、回路構造、神経病理		
46030	〔神経機能学関連〕	46	G
	神経生理、神経薬理、情報伝達、情報処理、行動、システム生理、脳循環、自律神経		
47010	〔薬系化学および創薬科学関連〕	47	H
	無機化学、有機化学、医薬品化学、医薬分子設計、医薬品探索、生体関連物質、ケミカルバイオロジー		
47020	〔薬系分析および物理化学関連〕	47	H
	環境分析、生体分析、物理化学、生物物理、構造解析、放射化学、イメージング、製剤設計、計算科学、情報科学		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
47030	〔薬系衛生および生物化学関連〕	47	H
	環境衛生、健康栄養、疾病予防、毒性学、薬物代謝、生体防御、分子生物学、細胞生物学、生化学		
47040	〔薬理学関連〕	47	H
	薬理学、ゲノム薬理学、応用薬理学、シグナル伝達、薬物相互作用、薬物応答、薬物治療、安全性学		
47050	〔環境および天然医薬資源学関連〕	47	H
	環境資源学、天然物化学、天然活性物質、薬用資源、薬用食品、微生物薬品学		
47060	〔医療薬学関連〕	47	H
	薬物動態学、医療情報学、社会薬学、医療薬学、医療薬剤学、レギュラトリーサイエンス、薬剤師教育		
48010	〔解剖学関連〕	48	H
	解剖学、組織学、発生学		
48020	〔生理学関連〕	48	H
	一般生理学、病態生理学、比較生理学、環境生理学		
48030	〔薬理学関連〕	48	H
	ゲノム薬理、分子細胞薬理、病態薬理、行動薬理、創薬薬理学、臨床薬理		
48040	〔医化学関連〕	48	H
	生体機能分子医化学、ゲノム医科学、人類遺伝学、疾患モデル		
49010	〔病態医化学関連〕	49	H
	分子病態、代謝異常、分子診断		
49020	〔人体病理学関連〕	49	H
	分子病理、細胞組織病理、診断病理		
49030	〔実験病理学関連〕	49	H
	疾患モデル、病態制御、組織再生		
49040	〔寄生虫学関連〕	49	H
	寄生虫、媒介生物、寄生虫病原性、寄生虫疫学、寄生虫感染制御		
49050	〔細菌学関連〕	49	H
	細菌、薬剤耐性、細菌病原性、細菌疫学、細菌感染制御		
49060	〔ウイルス学関連〕	49	H
	ウイルス、プリオン、ウイルス病原性、ウイルス疫学、ウイルス感染制御		
49070	〔免疫学関連〕	49	H
	免疫システム、免疫応答、炎症、免疫疾患、免疫制御		
50010	〔腫瘍生物学関連〕	50	I
	がんと遺伝子、腫瘍形成、浸潤、転移、がん微小環境、がんシグナル伝達、がん細胞の特性		
50020	〔腫瘍診断および治療学関連〕	50	I
	ゲノム解析、診断マーカー、分子イメージング、化学療法、核酸治療、遺伝子治療、免疫療法、標的治療、物理療法、放射線療法		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
51010	〔基盤脳科学関連〕	51	I
	ブレインマシンインターフェイス、モデル動物、計算論、デコーディング、操作技術、脳画像、計測科学		
51020	〔認知脳科学関連〕	51	I
	社会行動、コミュニケーション、情動、意志決定、意識、学習、ニューロエコノミクス、神経心理		
51030	〔病態神経科学関連〕	51	I
	臨床神経科学、疼痛学、感覚異常、運動異常、神経疾患、神経再生、神経免疫、細胞変性、病態モデル		
52010	〔内科学一般関連〕	52	I
	臨床検査医学、総合診療、老年医学、心療内科、東洋医学、緩和医療		
52020	〔神経内科学関連〕	52	I
	神経内科学、神経機能画像学		
52030	〔精神神経科学関連〕	52	I
	臨床精神医学、基礎精神医学、司法精神医学		
52040	〔放射線科学関連〕	52	I
	画像診断学、放射線治療学、放射線基礎医学、放射線技術学		
52050	〔小児成育学関連〕	52	I
	小児科学、新生児医学、胎児医学		
53010	〔消化器内科学関連〕	53	I
	上部消化管、下部消化管、肝臓、胆道、膵臓		
53020	〔循環器内科学関連〕	53	I
	虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、心筋症、心不全、末梢動脈疾患、動脈硬化、高血圧		
53030	〔呼吸器内科学関連〕	53	I
	呼吸器内科学、喘息、びまん性肺疾患、COPD、肺がん、肺高血圧		
53040	〔腎臓内科学関連〕	53	I
	急性腎障害、慢性腎臓病、糖尿病性腎症、高血圧、水電解質代謝、人工透析		
53050	〔皮膚科学関連〕	53	I
	皮膚科学、皮膚免疫疾患、皮膚感染、皮膚腫瘍		
54010	〔血液および腫瘍内科学関連〕	54	I
	血液腫瘍学、血液免疫学、貧血、血栓止血、化学療法		
54020	〔膠原病およびアレルギー内科学関連〕	54	I
	膠原病学、アレルギー学、臨床免疫学、炎症学		
54030	〔感染症内科学関連〕	54	I
	感染症診断学、感染症治療学、生体防御学、国際感染症学		
54040	〔代謝および内分泌学関連〕	54	I
	エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、プリン代謝、骨代謝、電解質代謝、内分泌学、神経内分泌学、生殖内分泌学		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
55010	〔外科学一般および小児外科学関連〕	55	I
	外科総論、乳腺外科、内分泌外科、小児外科、移植、人工臓器、再生、手術支援		
55020	〔消化器外科学関連〕	55	I
	上部消化管外科、下部消化管外科、肝臓外科、胆道外科、膵臓外科		
55030	〔心血管外科学関連〕	55	I
	冠動脈外科、弁膜疾患外科、心筋疾患外科、大血管外科、脈管外科、先天性心疾患		
55040	〔呼吸器外科学関連〕	55	I
	肺外科、縦隔外科、胸壁外科、気道外科		
55050	〔麻酔科学関連〕	55	I
	麻酔、周術期管理、疼痛管理、蘇生、緩和医療		
55060	〔救急医学関連〕	55	I
	集中治療、救急救命、外傷外科、災害医学		
56010	〔脳神経外科学関連〕	56	I
	脳神経外科学、脊髄脊椎疾患学		
56020	〔整形外科学関連〕	56	I
	整形外科学、リハビリテーション学、スポーツ医学		
56030	〔泌尿器科学関連〕	56	I
	泌尿器科学、男性生殖器学		
56040	〔産婦人科学関連〕	56	I
	周産期学、生殖内分泌学、婦人科腫瘍学、女性ヘルスケア学		
56050	〔耳鼻咽喉科学関連〕	56	I
	耳鼻咽喉科学、頭頸部外科学		
56060	〔眼科学関連〕	56	I
	眼科学、眼光学		
56070	〔形成外科学関連〕	56	I
	形成外科学、再建外科学、美容外科学		
57010	〔常態系口腔科学関連〕	57	I
	口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学		
57020	〔病態系口腔科学関連〕	57	I
	口腔感染症学、口腔病理学、口腔腫瘍学、免疫炎症科学、病態検査学		
57030	〔保存治療系歯学関連〕	57	I
	保存修復学、歯内治療学、歯周病学		
57040	〔口腔再生医学および歯科医用工学関連〕	57	I
	口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
57050	〔補綴系歯学関連〕 歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学	57	I
	〔外科系歯学関連〕 口腔外科学、顎顔面再建外科学、歯科麻酔学、歯科心身医学、歯科放射線学		
57060	〔成長および発育系歯学関連〕 歯科矯正学、小児歯科学	57	I
	〔社会系歯学関連〕 口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学		
57070	〔医療管理学および医療系社会学関連〕 医療管理学、医療社会学、医学倫理、医歯薬学教育、医学史、医療経済学、臨床試験、保健医療行政	58	I
	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健		
58020	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健	58	I
	〔法医学関連〕 法医学、法医病理、法中毒、法医遺伝、自殺、虐待、突然死		
58040	〔基礎看護学関連〕 基礎看護学、看護教育学、看護管理学	58	I
	〔臨床看護学関連〕 重篤救急看護学、周術期看護学、慢性病看護学、がん看護学、精神看護学、緩和ケア		
58050	〔生涯発達看護学関連〕 女性看護学、母性看護学、助産学、家族看護学、小児看護学、学校看護学	58	I
	〔高齢者看護学および地域看護学関連〕 高齢者看護学、地域看護学、公衆衛生看護学、災害看護学		
58070	〔リハビリテーション科学関連〕 リハビリテーション医学、リハビリテーション看護学、リハビリテーション医療、理学療法学、福祉工学	59	I
	〔スポーツ科学関連〕 スポーツ医科学、スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ社会学、スポーツ経営学、トレーニング科学、スポーツバイオメカニクス		
59010	〔健康教育および健康科学関連〕 身体教育学、教育生理学、身体システム学、脳高次機能学、ヘルスプロモーション、生活習慣病、老化、栄養学、機能的食品	59	I
	〔情報学基礎論関連〕 離散構造、数理論理学、計算理論、プログラム理論、計算量理論、アルゴリズム理論、情報理論、符号理論、暗号理論、学習理論		
60010	〔情報学基礎論関連〕 離散構造、数理論理学、計算理論、プログラム理論、計算量理論、アルゴリズム理論、情報理論、符号理論、暗号理論、学習理論	60	J

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
60020	〔数理情報学関連〕	60	J
	最適化理論、数理システム理論、システム制御理論、システム分析、システム方法論、システムモデリング、システムシミュレーション、組合せ最適化、待ち行列論、数理ファイナンス		
60030	〔統計科学関連〕	60	J
	データサイエンス、モデル化、仮説検定、統計的推測、多変量解析、時系列解析、統計のパターン認識、実験計画、統計の品質管理、統計科学応用		
60040	〔計算機システム関連〕	60	J
	計算機アーキテクチャ、回路とシステム、LSI設計、LSIテスト、リコンフィギュラブルシステム、ディペンダブルアーキテクチャ、低消費電力技術、ハードウェア・ソフトウェア協調設計、組込みシステム		
60050	〔ソフトウェア関連〕	60	J
	プログラミング言語、プログラミング方法論、オペレーティングシステム、並列分散処理、ソフトウェア工学、仮想化技術、クラウドコンピューティング、ソフトウェアディペンダビリティ、ソフトウェアセキュリティ		
60060	〔情報ネットワーク関連〕	60	J
	ネットワークアーキテクチャ、ネットワークプロトコル、インターネット、モバイルネットワーク、パーベイシブコンピューティング、センサーネットワーク、IoT、トラフィックエンジニアリング、ネットワーク管理、サービス構築基盤技術		
60070	〔情報セキュリティ関連〕	60	J
	暗号、耐タンパー技術、認証、バイオメトリクス、アクセス制御、マルウェア対策、サービス妨害攻撃対策、プライバシー保護、デジタルフォレンジクス、セキュリティ評価認証		
60080	〔データベース関連〕	60	J
	データモデル、データベースシステム、マルチメディアデータベース、情報検索、コンテンツ管理、メタデータ、ビッグデータ、地理情報システム		
60090	〔高性能計算関連〕	60	J
	並列処理、分散処理、クラウドコンピューティング、数値解析、可視化、コンピュータグラフィクス、高性能計算アプリケーション		
60100	〔計算科学関連〕	60	J
	数理工学、計算力学、数値シミュレーション、マルチスケール、大規模計算、超並列計算、数値計算手法、先進アルゴリズム		
61010	〔知覚情報処理関連〕	61	J
	パターン認識、画像処理、コンピュータビジョン、視覚メディア処理、音メディア処理、メディア編集、メディアデータベース、センシング、センサ融合		
61020	〔ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連〕	61	J
	ヒューマンインタフェース、マルチモーダルインタフェース、ヒューマンコンピュータインタラクション、協同作業環境、バーチャルリアリティ、拡張現実、臨場感コミュニケーション、ウェアラブル機器、ユーザビリティ、人間工学		
61030	〔知能情報学関連〕	61	J
	探索、推論、機械学習、知識獲得、知的システム、知能情報処理、自然言語処理、データマイニング、オントロジー、エージェントシステム		
61040	〔ソフトコンピューティング関連〕	61	J
	ニューラルネットワーク、遺伝アルゴリズム、ファジィ理論、カオス、複雑系、確率の情報処理		
61050	〔知能ロボティクス関連〕	61	J
	知能ロボット、行動環境認識、プランニング、感覚行動システム、自律システム、デジタルヒューマン、実世界情報処理、物理エージェント、知能化空間		
61060	〔感性情報学関連〕	61	J
	感性デザイン学、感性認知科学、感性心理学、感性ロボティクス、感性計測評価、感性インタフェース、感性生理学、感性材料科学、感性教育学、感性脳科学		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
62010	〔生命、健康および医療情報学関連〕	62	J
	バイオインフォマティクス、生命情報、生体情報、ニューロインフォマティクス、脳型情報処理、生命分子計算、DNAコンピュータ、医療情報、健康情報、医用画像		
62020	〔ウェブ情報学およびサービス情報学関連〕	62	J
	ウェブシステム、ソーシャルウェブ、セマンティックウェブ、ウェブマイニング、社会ネットワーク分析、サービス工学、教育サービス、医療サービス、福祉サービス、社会サービス		
62030	〔学習支援システム関連〕	62	J
	メディアリテラシー、学習メディア、ソーシャルメディア、学習コンテンツ、学習管理、学習支援、遠隔学習、eラーニング		
62040	〔エンタテインメントおよびゲーム情報学関連〕	62	J
	音楽情報処理、3Dコンテンツ、アニメーション、ゲームプログラミング、ネットワークエンタテインメント、メディアアート、インタラクティブアート、デジタルアーカイブズ、デジタルミュージアム、情報文化		
63010	〔環境動態解析関連〕	63	K
	地球温暖化、環境変動、水・物質循環、極域、化学海洋、生物海洋、環境計測、環境モデル、環境情報、リモートセンシング		
63020	〔放射線影響関連〕	63	K
	放射線、測定、管理、修復、生物影響、リスク		
63030	〔化学物質影響関連〕	63	K
	トキシコロジー、人体有害物質、微量化学物質、内分泌かく乱物質、修復		
63040	〔環境影響評価関連〕	63	K
	大気圏、水圏、陸圏、健康影響評価、社会経済影響評価、次世代影響評価、環境アセスメント、評価手法、モニタリング、シミュレーション		
64010	〔環境負荷およびリスク評価管理関連〕	64	K
	環境分析技術、環境負荷解析、調査モニタリング、汚染質動態、モデリング、汚染質評価、暴露評価、毒性評価、リスク評価管理、化学物質管理		
64020	〔環境負荷低減技術および保全修復技術関連〕	64	K
	汚染物質除去技術、廃棄物処理技術、排出生生抑制、適正処理処分、環境負荷低減、汚染修復技術、騒音振動対策、地盤沈下等対策、生物機能利用、放射能除染		
64030	〔環境材料およびリサイクル技術関連〕	64	K
	循環再生材料、有価物回収、分離精製高純度化、環境配慮設計、リサイクル化学、グリーンプロダクション、ゼロエミッション、資源循環、再生可能エネルギー、バイオマス利活用		
64040	〔自然共生システム関連〕	64	K
	生物多様性、保全生物、生態系サービス、自然資本、生態系影響解析、生態系管理、生態系修復、生態工学、地域環境計画、気候変動影響		
64050	〔循環型社会システム関連〕	64	K
	物質循環システム、物質エネルギー収支解析、低炭素社会、未利用エネルギー、地域創生、水システム、産業共生、ライフサイクル評価、統合的環境管理、3R社会システム		
64060	〔環境政策および環境配慮型社会関連〕	64	K
	環境理念、環境法、環境経済、環境情報、環境教育、環境社会活動、環境マネジメント、合意形成、安全安心、社会公共システム、持続可能発展		
90010	〔デザイン学関連〕	1, 23, 61	A, C, J
	情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育		
90020	〔図書館情報学および人文社会情報学関連〕	2, 62	A, J
	図書館学、情報サービス、情報組織化、情報検索、情報メディア、計量情報学、情報資源、情報倫理、人文情報学、社会情報学		

小区分	キーワード	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
90030	〔認知科学関連〕 認知科学一般、認知モデル、感性、ヒューマンファクターズ、脳認知科学、比較認知、認知言語学、認知工学	10, 61	A, J
90110	〔生体医工学関連〕 医用画像、生体モデリング、生体シミュレーション、生体計測、人工臓器学、再生医工学、生体物性、生体制御、バイオメカニクス、ナノバイオシステム	90	D, I
90120	〔生体材料学関連〕 生体機能材料、細胞組織工学材料、生体適合材料、ナノバイオ材料、再生医工学材料、薬物送達システム、刺激応答材料、遺伝子工学材料	90	D, I
90130	〔医用システム関連〕 医用超音波システム、画像診断システム、検査診断システム、低侵襲治療システム、遠隔診断治療システム、臓器保存システム、医療情報システム、コンピュータ外科学、医用ロボット	90	D, I
90140	〔医療技術評価学関連〕 レギュラトリーサイエンス、安全性評価、臨床研究、医療技術倫理、医療機器	90	D, I
90150	〔医療福祉工学関連〕 健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉介護用ロボット、生体機能代行、福祉用具、看護理工学	90	D, I

審査区分表（中区分、大区分一覧）

※中区分90「人間工医学およびその関連分野」は複数の大区分に属しており、大区分D、大区分Iに属しています。

大区分A

中区分1：思想、芸術およびその関連分野

小区分	キーワード
01010	〔哲学および倫理学関連〕 哲学一般、倫理学一般、西洋哲学、西洋倫理学、日本哲学、日本倫理学、応用倫理学
01020	〔中国哲学、印度哲学および仏教学関連〕 中国哲学思想、インド哲学思想、仏教思想、書誌学、文献学
01030	〔宗教学関連〕 宗教史、宗教哲学、神学、宗教社会学、宗教心理学、宗教人類学、宗教民俗学、神話学、書誌学、文献学
01040	〔思想史関連〕 思想史一般、西洋思想史、東洋思想史、日本思想史
01050	〔美学および芸術論関連〕 芸術哲学、感性論、各種芸術論
01060	〔美術史関連〕 日本美術、東洋美術、西洋美術、現代美術、工芸、デザイン、建築、服飾、写真
01070	〔芸術実践論関連〕 各種芸術表現法、アートマネジメント、芸術政策、芸術産業
01080	〔科学社会学および科学技術史関連〕 科学社会学、科学史、技術史、医学史、産業考古学、科学哲学、科学基礎論、科学技術社会論
90010	〔デザイン学関連〕 情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育

中区分2：文学、言語学およびその関連分野

小区分	キーワード
02010	〔日本文学関連〕 日本文学一般、古代文学、中世文学、漢文学、書誌学、文献学、近世文学、近代文学、現代文学、関連文学理論
02020	〔中国文学関連〕 中国文学、書誌学、文献学、関連文学理論
02030	〔英文学および英語圏文学関連〕 英文学、米文学、英語圏文学、関連文学理論、書誌学、文献学
02040	〔ヨーロッパ文学関連〕 仏文学、仏語圏文学、独文学、独語圏文学、西洋古典学、ロシア東欧文学、その他のヨーロッパ語系文学、関連文学理論、書誌学、文献学
02050	〔文学一般関連〕 諸地域諸言語の文学、文学理論、比較文学、書誌学、文献学、文学教育

02060	〔言語学関連〕 音声音韻論、意味語用論、形態統語論、社会言語学、対照言語学、心理言語学、神経言語学、通時的研究、コーパス言語学、危機言語
02070	〔日本語学関連〕 音声音韻、表記、語彙と意味、文法、文体、語用論、言語生活、方言、日本語史、日本語学史
02080	〔英語学関連〕 音声音韻、語彙と意味、文法、文体、語用論、社会言語学、英語の多様性、コーパス研究、英語史、英語学史
02090	〔日本語教育関連〕 学習者研究、言語習得、教材開発、カリキュラム評価、目的別日本語教育、バイリンガル教育、教師研究、日本語教育のための日本語研究、日本語教育史、異文化理解
02100	〔外国語教育関連〕 学習法、コンピュータ支援学習(CALL)、教材開発、言語テスト、第二言語習得論、早期英語教育、外国語教育政策史、カリキュラム評価、外国語教師養成、異文化理解
90020	〔図書館情報学および人文社会情報学関連〕 図書館学、情報サービス、情報組織化、情報検索、情報メディア、計量情報学、情報資源、情報倫理、人文情報学、社会情報学

中区分3：歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野

小区分	キーワード
03010	〔史学一般関連〕 歴史理論、歴史学方法論、史料研究、記憶とメディア、世界史、交流史、比較史
03020	〔日本史関連〕 日本史一般、古代史、中世史、近世史、近現代史、地方史、文化史、宗教史、環境史、都市史、交流史、比較史、史料研究
03030	〔アジア史およびアフリカ史関連〕 中国前近代史、中国近現代史、東アジア史、中央ユーラシア史、東南アジア史、オセアニア史、南アジア史、西アジア史、アフリカ史、交流史、比較史、史料研究
03040	〔ヨーロッパ史およびアメリカ史関連〕 ヨーロッパ古代史、ヨーロッパ中世史、西ヨーロッパ近現代史、東ヨーロッパ近現代史、南北アメリカ史、交流史、比較史、史料研究
03050	〔考古学関連〕 考古学一般、先史学、歴史考古学、日本考古学、アジア考古学、古代文明学、物質文化学、実験考古学、情報考古学、埋蔵文化財研究
03060	〔文化財科学関連〕 年代測定、材質分析、製作技法、保存科学、遺跡探査、動植物遺体、人骨、文化遺産、文化資源、文化財政策
03070	〔博物館学関連〕 博物館展示学、博物館教育学、博物館情報学、博物館経営学、博物館行財政学、博物館資料論、博物館学史

中区分4：地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野

小区分	キーワード
04010	〔地理学関連〕 地理学一般、土地利用、景観、環境システム、地形学、気候学、水文学、地図学、地理情報システム、地域計画
04020	〔人文地理学関連〕 人文地理学一般、経済地理学、社会地理学、政治地理学、文化地理学、都市地理学、農村地理学、歴史地理学、地誌学、地理教育
04030	〔文化人類学および民俗学関連〕 文化人類学一般、民俗学一般、物質文化、生態、社会関係、宗教、芸術、医療、越境、マイノリティー

80010	〔地域研究関連〕 地域研究一般、地域間比較、援助、国際協力、地域間交流、環境、トランスナショナリズム、グローバルゼーション
80020	〔観光学関連〕 観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼
80030	〔ジェンダー関連〕 ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画

中区分5：法学およびその関連分野

小区分	キーワード
05010	〔基礎法学関連〕 法哲学・法理学、ローマ法、法制史、法社会学、比較法、外国法、法政策学、法と経済、司法制度論
05020	〔公法学関連〕 憲法、行政法、租税法
05030	〔国際法学関連〕 国際公法、国際私法、国際人権法、国際経済法、EU法
05040	〔社会法学関連〕 労働法、経済法、社会保障法、教育法
05050	〔刑事法学関連〕 刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、少年法、法と心理
05060	〔民事法学関連〕 民法、商法、民事訴訟法、倒産法、紛争処理法制
05070	〔新領域法学関連〕 環境法、医事法、情報法、消費者法、知的財産法、法とジェンダー、法曹論

中区分6：政治学およびその関連分野

小区分	キーワード
06010	〔政治学関連〕 政治理論、政治思想史、政治史、日本政治史、現代日本政治、政治過程論、選挙研究、政治経済学、行政学、地方自治、比較政治、公共政策
06020	〔国際関係論関連〕 国際関係理論、現代国際関係、外交史、国際関係史、対外政策論、安全保障論、国際政治経済論、グローバルガバナンス論、国際協力論
80010	〔地域研究関連〕 地域研究一般、地域間比較、援助、国際協力、地域間交流、環境、トランスナショナリズム、グローバルゼーション
80030	〔ジェンダー関連〕 ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画

中区分7：経済学、経営学およびその関連分野

小区分	キーワード
07010	〔理論経済学関連〕 ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、行動経済学、実験経済学、経済理論、進化経済学、経済制度、経済体制

07020	〔経済学説および経済思想関連〕 経済学説、経済思想、社会思想、経済哲学
07030	〔経済統計関連〕 統計制度、統計調査、人口統計、所得分布、資産分布、国民経済計算、計量経済学、計量ファイナンス
07040	〔経済政策関連〕 国際経済学、産業組織論、経済発展論、都市経済学、リージョナルサイエンス、環境資源経済学、日本経済論、経済政策一般
07050	〔財政および公共経済関連〕 財政学、公共経済学、医療経済学、労働経済学、社会保障論、教育経済学、法と経済学、政治経済学
07060	〔金融およびファイナンス関連〕 金融論、ファイナンス、国際金融論、企業金融、金融工学
07070	〔経済史関連〕 経済史、経営史、産業史
07080	〔経営学関連〕 企業論、経営組織論、経営戦略論、経営管理論、人的資源管理論、技術経営論、国際経営論、経営情報論、経営工学、経営一般
07090	〔商学関連〕 マーケティング論、消費者行動論、流通論、商学一般
07100	〔会計学関連〕 財務会計論、管理会計論、監査論、会計一般
80020	〔観光学関連〕 観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼

中区分8 : 社会学およびその関連分野

小区分	キーワード
08010	〔社会学関連〕 社会学一般、地域社会、家族、労働、福祉社会学、ジェンダー、メディア、エスニシティ、社会運動、社会調査法
08020	〔社会福祉学関連〕 ソーシャルワーク、社会福祉政策学、社会事業史、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、地域福祉、貧困、ボランティア、社会福祉学一般
08030	〔生活文化関連〕 生活文化、生活経営、消費生活、ライフスタイル、服飾文化、食文化、住環境、生活科学一般
80020	〔観光学関連〕 観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼
80030	〔ジェンダー関連〕 ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画

中区分9 : 教育学およびその関連分野

小区分	キーワード
09010	〔教育学関連〕 教育史、教育哲学、教育方法学、教育評価、教育指導者、学校教育、社会教育、職業教育訓練、生涯学習、教育制度

(大区分A)

09020	〔教育社会学関連〕 教育社会学、社会化、教育組織、進路キャリア形成、階層格差、ジェンダー、教育政策、比較教育、国際開発
09030	〔子ども学および保育学関連〕 子ども学、保育学、子どもの権利、発達、保育の内容方法、子育て施設、保育者、保育子育て支援制度、子ども文化、歴史と思想
09040	〔初等中等教育学関連〕 各教科の教育、教科外教育、生徒指導、キャリア教育、学校経営、教師教育、ESD、環境教育、リテラシー
09050	〔高等教育学関連〕 政策、入学者選抜、カリキュラム、学習進路支援、教職員、学術研究、地域連携貢献、国際化、大学経営、非大学型高等教育
09060	〔特別支援教育関連〕 理念と歴史、インクルージョンと共生社会、指導と支援、発達障害、情緒障害、知的障害、言語障害、身体障害、キャリア教育
09070	〔教育工学関連〕 カリキュラム開発、教授学習支援システム、メディアの活用、ICTの活用、教師教育、情報リテラシー
02090	〔日本語教育関連〕 学習者研究、言語習得、教材開発、カリキュラム評価、目的別日本語教育、バイリンガル教育、教師研究、日本語教育のための日本語研究、日本語教育史、異文化理解
02100	〔外国語教育関連〕 学習法、コンピュータ支援学習(CALL)、教材開発、言語テスト、第二言語習得論、早期英語教育、外国語教育政策史、カリキュラム評価、外国語教師養成、異文化理解

中区分10：心理学およびその関連分野

小区分	キーワード
10010	〔社会心理学関連〕 社会心理学一般、自己、集団、態度行動、感情、対人関係、社会問題、文化
10020	〔教育心理学関連〕 教育心理学一般、発達、家庭、学校、臨床、パーソナリティ、学習、測定評価
10030	〔臨床心理学関連〕 臨床心理学一般、心理的障害、アセスメント、心理学的介入、養成訓練、健康、犯罪非行、コミュニティ
10040	〔実験心理学関連〕 実験心理学一般、感覚、知覚、注意、記憶、言語、情動、学習
90030	〔認知科学関連〕 認知科学一般、認知モデル、感性、ヒューマンファクターズ、脳認知科学、比較認知、認知言語学、認知工学

大区分B

中区分11：代数学、幾何学およびその関連分野

小区分	キーワード
11010	〔代数学関連〕 群論、環論、表現論、代数的組み合わせ論、数論、数論幾何学、代数幾何、代数解析、代数学一般
11020	〔幾何学関連〕 微分幾何学、リーマン幾何学、シンプレクティック幾何学、複素幾何学、位相幾何学、微分位相幾何学、低次元トポロジー、幾何学一般

中区分12：解析学、応用数学およびその関連分野	
小区分	キーワード
12010	〔基礎解析学関連〕 函数解析学、複素解析、確率論、調和解析、作用素論、スペクトル解析、作用素環論、代数解析、表現論、基礎解析学一般
12020	〔数理解析学関連〕 函数方程式論、実解析、力学系、変分法、非線形解析、応用解析一般
12030	〔数学基礎および統計関連〕 数学基礎論、情報理論、離散数学、ゲーム理論、統計数学、数学基礎一般
12040	〔応用数学関連〕 数値解析、数理モデル、最適制御、計算機数学、応用数学一般
中区分13：物性物理およびその関連分野	
小区分	キーワード
13010	〔数理物理および物性基礎関連〕 統計物理、物性基礎論、数理物理、非平衡非線形物理、流体物理、計算物理、量子情報
13020	〔半導体、光物性および原子物理関連〕 半導体、誘電体、原子分子、メソスコピック系、結晶、表面界面、光物性、量子エレクトロニクス
13030	〔磁性、超伝導および強相関係関連〕 磁性、強相関電子系、超伝導、量子流体固体、分子性固体
13040	〔生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連〕 生命現象の物理、生体物質の物理、液体とガラス、ソフトマター、レオロジー
中区分14：プラズマ学およびその関連分野	
小区分	キーワード
14010	〔プラズマ科学関連〕 基礎プラズマ、磁化プラズマ、レーザープラズマ、強結合プラズマ、プラズマ診断、宇宙天体プラズマ
14020	〔核融合学関連〕 プラズマ閉じ込め、プラズマ制御、プラズマ加熱、プラズマ計測、周辺プラズマ、プラズマ壁相互作用、慣性核融合、核融合材料、核融合システム学
14030	〔プラズマ応用科学関連〕 プラズマプロセス、プラズマフォトンクス、プラズマ材料科学、プラズマ応用一般
80040	〔量子ビーム科学関連〕 加速器、ビーム物理、放射線検出器、計測制御、量子ビーム応用
中区分15：素粒子、原子核、宇宙物理およびその関連分野	
小区分	キーワード
80040	〔量子ビーム科学関連〕 加速器、ビーム物理、放射線検出器、計測制御、量子ビーム応用
15010	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論〕 素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力

(大区分B)

15020	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験〕 素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力
-------	--

中区分16：天文学およびその関連分野

小区分	キーワード
16010	〔天文学関連〕 光学赤外線天文学、電波天文学、太陽物理学、位置天文学、理論天文学、X線γ線天文学

中区分17：地球惑星科学およびその関連分野

小区分	キーワード
17010	〔宇宙惑星科学関連〕 太陽地球系科学、超高層物理学、惑星科学、系外惑星科学、地球外物質科学
17020	〔大気水圏科学関連〕 気候システム学、大気科学、海洋科学、陸水学、雪氷学、古気候学
17030	〔地球人間圏科学関連〕 自然環境科学、自然災害科学、地理空間情報学、第四紀学、資源および鉱床学
17040	〔固体地球科学関連〕 固体地球物理学、地質学、地球内部物質科学、固体地球化学
17050	〔地球生命科学関連〕 生命の起源および進化学、極限生物学、生物地球化学、古環境学、古生物学

大区分C

中区分18：材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野

小区分	キーワード
18010	〔材料力学および機械材料関連〕 構造力学、疲労、破壊、生体力学、材料設計、材料物性、材料評価
18020	〔加工学および生産工学関連〕 工作機械、機械加工、特殊加工、超精密加工、アディティブマニファクチャリング、精密計測、生産システム、コンピュータ援用技術、工程設計
18030	〔設計工学関連〕 製品設計、サービス設計、信頼性設計、保全性設計、ライフサイクルエンジニアリング、リパースエンジニアリング、安全設計、設計学
18040	〔機械要素およびトライボロジー関連〕 機械要素、機構学、トライボロジー、アクチュエータ、マイクロマシン

中区分19：流体力学、熱工学およびその関連分野

小区分	キーワード
19010	〔流体力学関連〕 流体機械、流体計測、数値流体力学、乱流、混相流、圧縮性流体、非圧縮性流体
19020	〔熱工学関連〕 伝熱、対流、燃焼、熱物性、冷凍空調、熱機関、エネルギー変換

中区分20：機械力学、ロボティクスおよびその関連分野	
小区分	キーワード
20010	〔機械力学およびメカトロニクス関連〕 運動学、動力学、振動学、音響学、自動制御、学習制御、メカトロニクス、マイクロナノメカトロニクス、バイオメカニクス
20020	〔ロボティクスおよび知能機械システム関連〕 ロボティクス、知能機械システム、人間機械システム、ヒューマンインタフェース、プランニング、空間知能化システム、仮想現実感、拡張現実感
中区分21：電気電子工学およびその関連分野	
小区分	キーワード
21010	〔電力工学関連〕 電気エネルギー関連、省エネルギー、電力系統工学、電気機器、パワーエレクトロニクス、電気有効利用、電磁環境
21020	〔通信工学関連〕 情報理論、非線形理論、信号処理、有線通信方式、無線通信方式、変復調、アンテナ、ネットワーク、マルチメディア通信、暗号
21030	〔計測工学関連〕 計測理論、計測機器、波動応用計測、システム化技術、信号情報処理、センシングデバイス
21040	〔制御およびシステム工学関連〕 制御理論、システム理論、制御システム、知能システム、システム情報処理、システム制御応用、バイオシステム工学
21050	〔電気電子材料工学関連〕 半導体、誘電体、磁性体、有機物、超伝導体、複合材料、薄膜、量子構造、厚膜、作製評価技術
21060	〔電子デバイスおよび電子機器関連〕 電子デバイス、回路設計、光デバイス、スピンドバイス、ミリ波テラヘルツ波、波動応用デバイス、ストレージ、ディスプレイ、微細プロセス技術、実装技術
中区分22：土木工学およびその関連分野	
小区分	キーワード
22010	〔土木材料、施工および建設マネジメント関連〕 コンクリート、鋼材、複合材料、木材、舗装材料、補修補強材料、施工、維持管理、建設マネジメント、地下空間
22020	〔構造工学および地震工学関連〕 応用力学、構造工学、鋼構造、コンクリート構造、複合構造、風工学、地震工学、耐震構造、地震防災
22030	〔地盤工学関連〕 土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤の挙動、土構造物、地盤防災、地盤環境工学、トンネル工学、土壌環境
22040	〔水工学関連〕 水理学、環境水理学、水文学、河川工学、水資源工学、海岸工学、港湾工学、海洋工学
22050	〔土木計画学および交通工学関連〕 土木計画、地域都市計画、国土計画、防災計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、測量・リモートセンシング、景観デザイン、土木史
22060	〔土木環境システム関連〕 環境計画、環境システム、環境保全、用排水システム、廃棄物、水環境、大気循環、騒音振動、環境生態、環境モニタリング

中区分23：建築学およびその関連分野	
小区分	キーワード
23010	〔建築構造および材料関連〕 荷重論、構造解析、構造設計、各種構造、耐震設計、基礎構造、地盤、構造材料、維持管理、建築工法
23020	〔建築環境および建築設備関連〕 音環境、振動環境、光環境、熱環境、空気環境、環境心理生理、建築設備、火災工学、都市環境、環境設計
23030	〔建築計画および都市計画関連〕 計画論、設計論、住宅論、各種建物、都市計画、行政、建築経済、生産管理、防災計画、景観
23040	〔建築史および意匠関連〕 建築史、都市史、建築論、意匠、景観、保存、再生
90010	〔デザイン学関連〕 情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育
中区分24：航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	
小区分	キーワード
24010	〔航空宇宙工学関連〕 熱流体力学、構造強度、推進、航空宇宙機設計、生産技術、航空機システム、特殊航空機、航行ダイナミクス、宇宙機システム、宇宙利用
24020	〔船舶海洋工学関連〕 航行性能、構造体力学、設計、生産技術、船用機関、海上輸送、海洋開発工学、海中工学、極地工学、海洋環境技術
中区分25：社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	
小区分	キーワード
25010	〔社会システム工学関連〕 社会システム、経営工学、オペレーションズリサーチ、インダストリアルマネジメント、信頼性工学、政策科学、規制科学、品質管理
25020	〔安全工学関連〕 安全工学、安全システム、リスク工学、リスクマネジメント、労働安全、製品安全、安全情報、人間工学、信頼性工学
25030	〔防災工学関連〕 災害予測、ハザードマップ、建造物防災、ライフライン防災、地域防災計画、災害リスク評価、防災政策、災害レジリエンス

大区分D

中区分26：材料工学およびその関連分野	
小区分	キーワード
26010	〔金属材料物性関連〕 電気磁気物性、電子情報物性、準安定状態、拡散、相変態、状態図、結晶格子欠陥、力学物性、熱光物性、材料計算科学
26020	〔無機材料および物性関連〕 機能性セラミックス、機能性ガラス、構造用セラミックス、カーボン系材料、結晶構造解析、組織制御、電気物性、力学物性、物理的・化学的性質、粒界物性
26030	〔複合材料および界面関連〕 機能性複合材料、構造用複合材料、生体用複合材料、複合高分子、表面処理、分散制御、接合、接着、界面物性、傾斜機能

26040	〔構造材料および機能材料関連〕 社会基盤構造材料、靱性、医療福祉材料、機能性高分子材料、信頼性、光機能材料、センサー材料、エネルギー材料、電池機能材料、環境機能材料
26050	〔材料加工および組織制御関連〕 加工成形、加工熱処理、結晶組織制御、レーザー加工、精密加工、研磨、粉末冶金、コーティング、めっき、腐食防食
26060	〔金属生産および資源生産関連〕 分離精製、融解凝固、結晶成長、鋳造、資源保障確保、希少資源代替、低環境負荷、リサイクル、エコマテリアル、省エネルギー

中区分27：化学工学およびその関連分野

小区分	キーワード
27010	〔移動現象および単位操作関連〕 相平衡、輸送物性、移動速度論、流体系単位操作、吸着、膜分離、攪拌混合操作、粉粒体操作、晶析操作、製膜成形
27020	〔反応工学およびプロセスシステム工学関連〕 反応操作論、新規反応場、反応機構、反応装置設計、材料合成プロセス、マイクロプロセス、プロセス制御、プロセスシステム設計、プロセス情報処理
27030	〔触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連〕 触媒反応論、触媒調製化学、触媒機能、エネルギー変換プロセス、エネルギー開発、省エネルギー技術、資源有効利用技術
27040	〔バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連〕 生体触媒工学、生物機能応用工学、食品工学、医用化学工学、バイオ生産プロセス、ナノバイオプロセス、バイオリクター、バイオセパレーション、バイオセンサー、バイオリファイナリー

中区分28：ナノマイクロ科学およびその関連分野

小区分	キーワード
28010	〔ナノ構造化学関連〕 ナノ構造作製、クラスター、ナノ粒子、メソスコピック化学、超構造、ナノ表面、ナノ界面、自己組織化、ナノカーボン化学、分子デバイス、ナノ光デバイス
28020	〔ナノ構造物理関連〕 ナノ物性、ナノプローブ、量子効果、量子ドット、量子デバイス、電子デバイス、スピンドバイス、ナノトライポロジー、ナノカーボン物理
28030	〔ナノ材料科学関連〕 ナノ材料創製、ナノ材料解析、ナノ表面、ナノ界面、ナノ機能材料、ナノ構造、ナノ粒子、ナノカーボン材料、ナノ結晶材料、ナノコンポジット、ナノ欠陥、ナノ加工プロセス
28040	〔ナノバイオサイエンス関連〕 バイオ分子デバイス、分子マニピュレーション、分子イメージング、ナノ計測、ナノ合成、1分子科学、ナノバイオインターフェース、バイオ分子アレイ、ゲノム工学
28050	〔ナノマイクロシステム関連〕 MEMS、NEMS、BioMEMS、ナノマイクロ加工、ナノマイクロ光デバイス、ナノマイクロ化学システム、ナノマイクロバイオシステム、ナノマイクロ生体システム、ナノマイクロメカニクス、ナノマイクロセンサー

中区分29：応用物理物性およびその関連分野

小区分	キーワード
29010	〔応用物性関連〕 磁性体、超伝導体、誘電体、微粒子、有機分子、液晶、新機能材料、有機分子バイオエレクトロニクス、スピントロニクス
29020	〔薄膜および表面界面物性関連〕 薄膜工学、薄膜エレクトロニクス、酸化物エレクトロニクス、真空、表面科学、分析、計測、ナノ顕微技術、表面界面制御、先端機器
29030	〔応用物理一般関連〕 基本物理量、標準、単位、物理量計測、物理量検出、エネルギー変換

(大区分D)

中区分30：応用物理工学およびその関連分野	
小区分	キーワード
30010	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学
30020	〔光工学および光量子科学関連〕 光材料、光学素子、光物性、光情報処理、レーザー、光計測、光記録、光エレクトロニクス、非線形光学、視覚光学

中区分31：原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野	
小区分	キーワード
31010	〔原子力工学関連〕 炉物理安全設計、熱流動構造、燃料材料、原子力化学、原子力ライフサイクル、放射線安全、放射線ビーム工学、核融合炉プラズマ工学、核融合炉機器材料工学、原子力社会環境
31020	〔地球資源工学およびエネルギー学関連〕 地球資源論、資源探査、資源開発、資源循環、資源経済、エネルギーシステム、環境負荷評価、再生可能エネルギー、資源エネルギー技術政策

中区分90：人間医工学およびその関連分野	
小区分	キーワード
90110	〔生体医工学関連〕 医用画像、生体モデリング、生体シミュレーション、生体計測、人工臓器学、再生医工学、生体物性、生体制御、バイオメカニクス、ナノバイオシステム
90120	〔生体材料学関連〕 生体機能材料、細胞組織工学材料、生体適合材料、ナノバイオ材料、再生医工学材料、薬物送達システム、刺激応答材料、遺伝子工学材料
90130	〔医用システム関連〕 医用超音波システム、画像診断システム、検査診断システム、低侵襲治療システム、遠隔診断治療システム、臓器保存システム、医療情報システム、コンピュータ外科学、医用ロボット
90140	〔医療技術評価学関連〕 レギュラトリーサイエンス、安全性評価、臨床研究、医療技術倫理、医療機器
90150	〔医療福祉工学関連〕 健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉介護用ロボット、生体機能代行、福祉用具、看護理工学

大区分E

中区分32：物理化学、機能物性化学およびその関連分野	
小区分	キーワード
32010	〔基礎物理化学関連〕 理論化学、分子分光學、構造化学、電子状態動力学、化学反応ダイナミクス、表面・界面、クラスターとナノ物質、生体関連物理化学、液体構造ダイナミクス、固体物性、分子物性
32020	〔機能物性化学関連〕 光物性、スピン、デバイスと分子素子、超分子、液晶、結晶、表面・界面、微粒子、コロイド、電気化学、電子物性

中区分33：有機化学およびその関連分野	
小区分	キーワード
33010	〔構造有機化学および物理有機化学関連〕 有機結晶、分子認識、超分子、有機機能物質、拡張 π 電子系化合物、複素環化学、有機元素化学、有機反応機構、有機光化学、理論有機化学

33020	〔有機合成化学関連〕 選択的合成、不斉合成、有機金属錯体、触媒設計、有機分子触媒、生体触媒、環境調和型合成、天然物合成、プロセス化学、有機電気化学
-------	--

中区分34：無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野

小区分	キーワード
34010	〔無機・錯体化学関連〕 金属錯体化学、有機金属化学、無機固体化学、生物無機化学、溶液化学、クラスター、超分子、配位高分子、典型元素、機能物性
34020	〔分析化学関連〕 スペクトル分析、先端計測、表面・界面分析、分離分析、分析試薬、放射化学、電気化学分析、バイオ分析、新分析法
34030	〔グリーンサステナブルケミストリーおよび環境化学関連〕 グリーンプロセス、グリーン触媒、リサイクル、環境計測、環境調和型物質、環境負荷低減、環境修復、省資源、地球化学、環境放射能

中区分35：高分子、有機材料およびその関連分野

小区分	キーワード
35010	〔高分子化学関連〕 高分子合成、高分子反応、精密重合、機能性高分子、自己組織化高分子、キラル高分子、生体関連高分子、高分子物性、高分子構造、高分子薄膜・表面
35020	〔高分子材料関連〕 高分子材料物性、高分子材料合成、高分子機能材料、高分子液晶材料、繊維材料、ゴム材料、ゲル、生体関連高分子材料、高分子複合材料、高分子加工
35030	〔有機機能材料関連〕 有機半導体材料、液晶、光学材料、デバイス関連材料、導電機能材料、ハイブリッド材料、分子機能材料、有機複合材料、エネルギー変換材料

中区分36：無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野

小区分	キーワード
36010	〔無機物質および無機材料化学関連〕 結晶、アモルファス、セラミックス、半導体、無機デバイス関連材料、低次元化合物関連化学、多孔体関連化学、ナノ粒子関連化学、多元系化合物、ハイブリッド材料
36020	〔エネルギー関連化学〕 エネルギー資源、エネルギー変換材料、エネルギーキャリア関連、光エネルギー利用、物質分離、物質変換と触媒、電池と電気化学材料、省エネルギー材料、再生可能エネルギー、未利用エネルギー

中区分37：生体分子化学およびその関連分野

小区分	キーワード
37010	〔生体関連化学〕 生物有機化学、生物無機化学、生体反応化学、生体機能化学、生体機能材料、バイオテクノロジー
37020	〔生物分子化学関連〕 天然物化学、生物活性分子、活性発現の分子機構、生体機能分子、コンビナトリアル化学、メタボローム解析
37030	〔ケミカルバイオロジー関連〕 生体内機能発現、生体内化学反応、創薬科学、化合物ライブラリー、構造活性相関、化学プローブ、分子計測、分子イメージング、プロテオミクス

大区分F

中区分38：農芸化学およびその関連分野

小区分	キーワード
38010	〔植物栄養学および土壌学関連〕 植物代謝生理、植物の栄養元素、土壌分類、土壌物理化学、土壌生物
38020	〔応用微生物学関連〕 微生物遺伝育種、微生物機能、微生物代謝生理、微生物利用、微生物制御、微生物生態、物質生産
38030	〔応用生物化学関連〕 細胞生化学、応用生化学、構造生物学、活性制御、代謝生理、細胞機能、分子機能、物質生産
38040	〔生物有機化学関連〕 生物活性物質、シグナル伝達調節物質、天然物化学、天然物合成、構造活性相関、有機合成化学、ケミカルバイオロジー
38050	〔食品科学関連〕 食品機能、食品化学、栄養化学、食品分析、食品工学、食品衛生、機能性食品、栄養疫学、臨床栄養
38060	〔応用分子細胞生物学関連〕 分子細胞生物学、細胞生物学、機能分子工学、発現制御、細胞分子間相互作用、細胞機能、物質生産

中区分39：生産環境農学およびその関連分野

小区分	キーワード
39010	〔遺伝育種科学関連〕 遺伝資源、育種理論、ゲノム育種、新規形質創生、品質成分、ストレス耐性、収量性、生殖増殖、生長生理、発生
39020	〔作物生産科学関連〕 土地利用型作物、作物収量、作物品質、作物形態、生育予測、作物生理、耕地管理、低コスト栽培技術、環境保全型農業、耕地生態系
39030	〔園芸科学関連〕 成長開花結実制御、種苗生産、作型、栽培技術、施設園芸、環境制御、品種開発、品質、ポストハーベスト、社会園芸
39040	〔植物保護科学関連〕 植物病理学、植物医科学、農業害虫、天敵、雑草、農薬、総合的有害生物管理
39050	〔昆虫科学関連〕 蚕糸昆虫利用学、昆虫遺伝、昆虫病理、昆虫生理生化学、昆虫生態、化学生態学、系統分類、寄生・共生、社会性昆虫、衛生昆虫
39060	〔生物資源保全学関連〕 保全生物、生物多様性保全、系統生物保全、遺伝子資源保全、生態系保全、在来種保全、微生物保全
39070	〔ランドスケープ科学関連〕 造園、緑地計画、景観計画、文化的景観、自然環境保全、ランドスケープエコロジー、公園緑地管理、公園、環境緑化、参加型まちづくり

中区分40：森林圏科学、水圏応用科学およびその関連分野

小区分	キーワード
40010	〔森林科学関連〕 森林生態、森林生物多様性、森林遺伝育種、造林、森林保護、森林環境、山地保全、森林計画、森林政策

(大区分F)

40020	〔木質科学関連〕 組織構造、材質、リグノセルロース、微量成分、菌類、木材加工、バイオマスリファイナリー、木質材料、木造建築、林産教育
40030	〔水圏生産科学関連〕 水圏環境、漁業、水産資源管理、水圏生物、水圏生態系、水産増殖、水産工学、水産政策、水産経営経済、水産教育
40040	〔水圏生命科学関連〕 水生生物栄養、水生生物病理、水生生物繁殖育種、水生生物生理、水生生物利用、水生生物化学、水生生物工学、水産食品科学

中区分41：社会経済農学、農業工学およびその関連分野

小区分	キーワード
41010	〔食料農業経済関連〕 食料消費経済、農業生産経済、農林水産政策、フードシステム、食料マーケティング、国際農業開発、農畜産物貿易、農村資源環境
41020	〔農業社会構造関連〕 農業経営組織、農業経営管理、農業構造、農業市場、農業史、農村社会、農村生活、協同組合
41030	〔地域環境工学および農村計画学関連〕 灌漑排水、農地整備、農村計画、地域環境、資源エネルギー循環、地域防災、農業用施設のストックマネジメント、水理水文、土壌物理、材料施工
41040	〔農業環境工学および農業情報工学関連〕 生物生産施設、農業機械システム、生産環境調節、農業気象環境、農業情報システム、施設園芸、植物工場、農産物貯蔵流通加工、非破壊生体計測、遠隔計測情報処理
41050	〔環境農学関連〕 バイオマス、環境利用改善、生物多様性、環境分析、生態系サービス、資源循環システム、低炭素社会、ライフサイクルアセスメント、環境調和型農業、流域管理

中区分42：獣医学、畜産学およびその関連分野

小区分	キーワード
42010	〔動物生産科学関連〕 遺伝育種、繁殖、栄養飼養、形態生理、畜産物利用、環境管理、行動、アニマルセラピー
42020	〔獣医学関連〕 基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学、動物看護、動物福祉、野生動物
42030	〔動物生命科学関連〕 恒常性、細胞機能、生体防御、総合遺伝、発生分化、生命工学
42040	〔実験動物学関連〕 遺伝子工学、発生工学、疾患モデル、施設整備、実験動物福祉、実験動物関連技術、バイオリソース

大区分G

中区分43：分子生物学およびその関連分野

小区分	キーワード
43010	〔分子生物学関連〕 染色体機能、クロマチン、エピジェネティクス、遺伝情報の維持、遺伝情報の継承、遺伝情報の再編、遺伝情報の発現、タンパク質の機能調節
43020	〔構造生物化学関連〕 タンパク質、核酸、脂質、糖、生体膜、分子認識、変性、立体構造解析、立体構造予測、分子動力学

43030	〔機能生物化学関連〕 酵素、糖鎖、生体エネルギー変換、生体微量元素、生理活性物質、細胞情報伝達、膜輸送、タンパク質分解、分子認識
43040	〔生物物理学関連〕 構造生物学、生体分子の物性、生体膜、光生物、分子モーター、生体計測、バイオイメージング、システム生物学、合成生物学、理論生物学
43050	〔ゲノム生物学関連〕 ゲノム構造、ゲノム機能、ゲノム多様性、ゲノム分子進化、ゲノム修復維持、トランスオミックス、エピゲノム、遺伝子資源
43060	〔システムゲノム科学関連〕 ネットワーク解析、合成生物学、バイオデータベース、バイオインフォマティクス、ゲノム解析技術、ゲノム生物学

中区分44：細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野

小区分	キーワード
44010	〔細胞生物学関連〕 細胞骨格、タンパク質分解、オルガネラの動態、核の構造機能、細胞外マトリックス、シグナル伝達、細胞周期、細胞運動、細胞間相互作用
44020	〔発生生物学関連〕 細胞分化、幹細胞、再生、胚葉形成、形態形成、器官形成、受精、生殖細胞、遺伝子発現調節、発生遺伝、進化発生
44030	〔植物分子および生理科学関連〕 光合成、成長生理、植物発生、オルガネラ、細胞壁、環境応答、植物微生物相互作用、代謝、植物分子機能
44040	〔形態および構造関連〕 分子形態、微細構造、組織構築、形態形成、生物形態、比較内分泌、顕微鏡技術、イメージング
44050	〔動物生理化学、生理学および行動学関連〕 代謝生理、神経生理、神経行動、行動生理、動物生理化学

中区分45：多様性生物学、人類学およびその関連分野

小区分	キーワード
45010	〔遺伝学関連〕 遺伝機構、分子遺伝、細胞遺伝、集団遺伝、進化遺伝、発生遺伝、行動遺伝、遺伝的多様性
45020	〔進化生物学関連〕 進化全般、分子進化、表現型進化、発生進化、生態進化、行動進化、実験進化、進化理論、共生進化、系統進化、種分化
45030	〔多様性生物学および分類学関連〕 分類形質、分類群、分類体系、多様性全般、系統、進化、自然史、種分化
45040	〔生態学および環境学関連〕 化学生態、分子生態、生理生態、進化生態、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系、保全生態、自然環境
45050	〔自然人類学関連〕 分子と遺伝、形態全般、骨考古全般、行動認知、生態、霊長類、進化、個体発生、変異
45060	〔応用人類学関連〕 生理人類学、人間工学、法医人類学、医療人類学、生理的多型性、環境適応能全般、生体機能全般、生体計測全般

(大区分G)

中区分46：神経科学およびその関連分野	
小区分	キーワード
46010	〔神経科学一般関連〕 神経化学、神経細胞、グリア細胞、ゲノム、エピジェネティクス、神経生物、情報処理、シナプス、神経発生
46020	〔神経形態学関連〕 形態形成、脳構造、回路構造、神経病理
46030	〔神経機能学関連〕 神経生理、神経薬理、情報伝達、情報処理、行動、システム生理、脳循環、自律神経

大区分H

中区分47：薬学およびその関連分野	
小区分	キーワード
47010	〔薬系化学および創薬科学関連〕 無機化学、有機化学、医薬品化学、医薬分子設計、医薬品探索、生体関連物質、ケミカルバイオロジー
47020	〔薬系分析および物理化学関連〕 環境分析、生体分析、物理化学、生物物理、構造解析、放射化学、イメージング、製剤設計、計算科学、情報科学
47030	〔薬系衛生および生物化学関連〕 環境衛生、健康栄養、疾病予防、毒性学、薬物代謝、生体防御、分子生物学、細胞生物学、生化学
47040	〔薬理学関連〕 薬理学、ゲノム薬理学、応用薬理学、シグナル伝達、薬物相互作用、薬物応答、薬物治療、安全性学
47050	〔環境および天然医薬資源学関連〕 環境資源学、天然物化学、天然活性物質、薬用資源、薬用食品、微生物薬品学
47060	〔医療薬学関連〕 薬物動態学、医療情報学、社会薬学、医療薬学、医療薬剤学、レギュラトリーサイエンス、薬剤師教育

中区分48：生体の構造と機能およびその関連分野	
小区分	キーワード
48010	〔解剖学関連〕 解剖学、組織学、発生学
48020	〔生理学関連〕 一般生理学、病態生理学、比較生理学、環境生理学
48030	〔薬理学関連〕 ゲノム薬理、分子細胞薬理、病態薬理、行動薬理、創薬薬理学、臨床薬理
48040	〔医化学関連〕 生体機能分子医化学、ゲノム医科学、人類遺伝学、疾患モデル

中区分49：病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野

小区分	キーワード
49010	〔病態医化学関連〕
	分子病態、代謝異常、分子診断
49020	〔人体病理学関連〕
	分子病理、細胞組織病理、診断病理
49030	〔実験病理学関連〕
	疾患モデル、病態制御、組織再生
49040	〔寄生虫学関連〕
	寄生虫、媒介生物、寄生虫病原性、寄生虫疫学、寄生虫感染制御
49050	〔細菌学関連〕
	細菌、薬剤耐性、細菌病原性、細菌疫学、細菌感染制御
49060	〔ウイルス学関連〕
	ウイルス、プリオン、ウイルス病原性、ウイルス疫学、ウイルス感染制御
49070	〔免疫学関連〕
	免疫システム、免疫応答、炎症、免疫疾患、免疫制御

大区分I

中区分50：腫瘍学およびその関連分野

小区分	キーワード
50010	〔腫瘍生物学関連〕
	がん遺伝子、腫瘍形成、浸潤、転移、がん微小環境、がんシグナル伝達、がん細胞の特性
50020	〔腫瘍診断および治療学関連〕
	ゲノム解析、診断マーカー、分子イメージング、化学療法、核酸治療、遺伝子治療、免疫療法、標的治療、物理療法、放射線療法

中区分51：ブレインサイエンスおよびその関連分野

小区分	キーワード
51010	〔基盤脳科学関連〕
	ブレインマシンインターフェイス、モデル動物、計算論、デコーディング、操作技術、脳画像、計測科学
51020	〔認知脳科学関連〕
	社会行動、コミュニケーション、情動、意志決定、意識、学習、ニューロエコノミクス、神経心理
51030	〔病態神経科学関連〕
	臨床神経科学、疼痛学、感覚異常、運動異常、神経疾患、神経再生、神経免疫、細胞変性、病態モデル

中区分52：内科学一般およびその関連分野

小区分	キーワード
52010	〔内科学一般関連〕
	臨床検査医学、総合診療、老年医学、心療内科、東洋医学、緩和医療

52020	〔神経内科学関連〕 神経内科学、神経機能画像学
52030	〔精神神経科学関連〕 臨床精神医学、基礎精神医学、司法精神医学
52040	〔放射線科学関連〕 画像診断学、放射線治療学、放射線基礎医学、放射線技術学
52050	〔小児成育学関連〕 小児科学、新生児医学、胎児医学

中区分53：器官システム内科学およびその関連分野

小区分	キーワード
53010	〔消化器内科学関連〕 上部消化管、下部消化管、肝臓、胆道、膵臓
53020	〔循環器内科学関連〕 虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、心筋症、心不全、末梢動脈疾患、動脈硬化、高血圧
53030	〔呼吸器内科学関連〕 呼吸器内科学、喘息、びまん性肺疾患、COPD、肺がん、肺高血圧
53040	〔腎臓内科学関連〕 急性腎障害、慢性腎臓病、糖尿病性腎症、高血圧、水電解質代謝、人工透析
53050	〔皮膚科学関連〕 皮膚科学、皮膚免疫疾患、皮膚感染、皮膚腫瘍

中区分54：生体情報内科学およびその関連分野

小区分	キーワード
54010	〔血液および腫瘍内科学関連〕 血液腫瘍学、血液免疫学、貧血、血栓止血、化学療法
54020	〔膠原病およびアレルギー内科学関連〕 膠原病学、アレルギー学、臨床免疫学、炎症学
54030	〔感染症内科学関連〕 感染症診断学、感染症治療学、生体防御学、国際感染症学
54040	〔代謝および内分泌学関連〕 エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、プリン代謝、骨代謝、電解質代謝、内分泌学、神経内分泌学、生殖内分泌学

中区分55：恒常性維持器官の外科学およびその関連分野

小区分	キーワード
55010	〔外科学一般および小児外科学関連〕 外科総論、乳腺外科、内分泌外科、小児外科、移植、人工臓器、再生、手術支援
55020	〔消化器外科学関連〕 上部消化管外科、下部消化管外科、肝臓外科、胆道外科、膵臓外科

55030	〔心臓血管外科学関連〕 冠動脈外科、弁膜疾患外科、心筋疾患外科、大血管外科、脈管外科、先天性心疾患
55040	〔呼吸器外科学関連〕 肺外科、縦隔外科、胸壁外科、気道外科
55050	〔麻酔科学関連〕 麻酔、周術期管理、疼痛管理、蘇生、緩和医療
55060	〔救急医学関連〕 集中治療、救急救命、外傷外科、災害医学

中区分56：生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野

小区分	キーワード
56010	〔脳神経外科学関連〕 脳神経外科学、脊髄脊椎疾患学
56020	〔整形外科学関連〕 整形外科学、リハビリテーション学、スポーツ医学
56030	〔泌尿器科学関連〕 泌尿器科学、男性生殖器学
56040	〔産婦人科学関連〕 周産期学、生殖内分泌学、婦人科腫瘍学、女性ヘルスケア学
56050	〔耳鼻咽喉科学関連〕 耳鼻咽喉科学、頭頸部外科学
56060	〔眼科学関連〕 眼科学、眼光学
56070	〔形成外科学関連〕 形成外科学、再建外科学、美容外科学

中区分57：口腔科学およびその関連分野

小区分	キーワード
57010	〔常態系口腔科学関連〕 口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学
57020	〔病態系口腔科学関連〕 口腔感染症学、口腔病理学、口腔腫瘍学、免疫炎症科学、病態検査学
57030	〔保存治療系歯学関連〕 保存修復学、歯内治療学、歯周病学
57040	〔口腔再生医学および歯科医用工学関連〕 口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学
57050	〔補綴系歯学関連〕 歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学

57060	〔外科系歯学関連〕 口腔外科学、顎顔面再建外科学、歯科麻酔学、歯科心身医学、歯科放射線学
57070	〔成長および発育系歯学関連〕 歯科矯正学、小児歯科学
57080	〔社会系歯学関連〕 口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学

中区分58：社会医学、看護学およびその関連分野

小区分	キーワード
58010	〔医療管理学および医療系社会学関連〕 医療管理学、医療社会学、医学倫理、医歯薬学教育、医学史、医療経済学、臨床試験、保健医療行政
58020	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健
58030	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健
58040	〔法医学関連〕 法医学、法医病理、法中毒、法医遺伝、自殺、虐待、突然死
58050	〔基礎看護学関連〕 基礎看護学、看護教育学、看護管理学
58060	〔臨床看護学関連〕 重篤救急看護学、周術期看護学、慢性病看護学、がん看護学、精神看護学、緩和ケア
58070	〔生涯発達看護学関連〕 女性看護学、母性看護学、助産学、家族看護学、小児看護学、学校看護学
58080	〔高齢者看護学および地域看護学関連〕 高齢者看護学、地域看護学、公衆衛生看護学、災害看護学

中区分59：健康科学およびその関連分野

小区分	キーワード
59010	〔リハビリテーション科学関連〕 リハビリテーション医学、リハビリテーション看護学、リハビリテーション医療、理学療法学、福祉工学
59020	〔スポーツ科学関連〕 スポーツ医科学、スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ社会学、スポーツ経営学、トレーニング科学、スポーツバイオメカニクス
59030	〔健康教育および健康科学関連〕 身体教育学、教育生理学、身体システム学、脳高次機能学、ヘルスプロモーション、生活習慣病、老化、栄養学、機能的食品

中区分90：人間医工学およびその関連分野

小区分	キーワード
90110	〔生体医工学関連〕 医用画像、生体モデリング、生体シミュレーション、生体計測、人工臓器学、再生医工学、生体物性、生体制御、バイオメカニクス、ナノバイオシステム

(大区分I)

90120	〔生体材料学関連〕 生体機能材料、細胞組織工学材料、生体適合材料、ナノバイオ材料、再生医工学材料、薬物送達システム、刺激応答材料、遺伝子工学材料
90130	〔医用システム関連〕 医用超音波システム、画像診断システム、検査診断システム、低侵襲治療システム、遠隔診断治療システム、臓器保存システム、医療情報システム、コンピュータ外科学、医用ロボット
90140	〔医療技術評価学関連〕 レギュラトリーサイエンス、安全性評価、臨床研究、医療技術倫理、医療機器
90150	〔医療福祉工学関連〕 健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉介護用ロボット、生体機能代行、福祉用具、看護理工学

大区分J

中区分60：情報科学、情報工学およびその関連分野

小区分	キーワード
60010	〔情報学基礎論関連〕 離散構造、数理論理学、計算理論、プログラム理論、計算量理論、アルゴリズム理論、情報理論、符号理論、暗号理論、学習理論
60020	〔数理情報学関連〕 最適化理論、数理システム理論、システム制御理論、システム分析、システム方法論、システムモデリング、システムシミュレーション、組合せ最適化、待ち行列論、数理ファイナンス
60030	〔統計科学関連〕 データサイエンス、モデル化、仮説検定、統計的推測、多変量解析、時系列解析、統計的パターン認識、実験計画、統計的品質管理、統計科学応用
60040	〔計算機システム関連〕 計算機アーキテクチャ、回路とシステム、LSI設計、LSIテスト、リコンフィギャラブルシステム、ディペンダブルアーキテクチャ、低消費電力技術、ハードウェア・ソフトウェア協調設計、組込みシステム
60050	〔ソフトウェア関連〕 プログラミング言語、プログラミング方法論、オペレーティングシステム、並列分散処理、ソフトウェア工学、仮想化技術、クラウドコンピューティング、ソフトウェアディペンダビリティ、ソフトウェアセキュリティ
60060	〔情報ネットワーク関連〕 ネットワークアーキテクチャ、ネットワークプロトコル、インターネット、モバイルネットワーク、パーベイシブコンピューティング、センサーネットワーク、IoT、トラフィックエンジニアリング、ネットワーク管理、サービス構築基盤技術
60070	〔情報セキュリティ関連〕 暗号、耐タンパー技術、認証、バイオメトリクス、アクセス制御、マルウェア対策、サービス妨害攻撃対策、プライバシー保護、デジタルフォレンジクス、セキュリティ評価認証
60080	〔データベース関連〕 データモデル、データベースシステム、マルチメディアデータベース、情報検索、コンテンツ管理、メタデータ、ビッグデータ、地理情報システム
60090	〔高性能計算関連〕 並列処理、分散処理、クラウドコンピューティング、数値解析、可視化、コンピュータグラフィクス、高性能計算アプリケーション
60100	〔計算科学関連〕 数理工学、計算力学、数値シミュレーション、マルチスケール、大規模計算、超並列計算、数値計算手法、先進アルゴリズム

中区分61：人間情報学およびその関連分野

小区分	キーワード
61010	〔知覚情報処理関連〕 パターン認識、画像処理、コンピュータビジョン、視覚メディア処理、音メディア処理、メディア編集、メディアデータベース、センシング、センサ融合

(大区分J)

61020	〔ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連〕 ヒューマンインタフェース、マルチモーダルインタフェース、ヒューマンコンピュータインタラクション、協同作業環境、バーチャルリアリティ、拡張現実、臨場感コミュニケーション、ウェアラブル機器、ユーザビリティ、人間工学
61030	〔知能情報学関連〕 探索、推論、機械学習、知識獲得、知的システム、知能情報処理、自然言語処理、データマイニング、オントロジー、エージェントシステム
61040	〔ソフトコンピューティング関連〕 ニューラルネットワーク、遺伝アルゴリズム、ファジィ理論、カオス、複雑系、確率的情報処理
61050	〔知能ロボティクス関連〕 知能ロボット、行動環境認識、プランニング、感覚行動システム、自律システム、デジタルヒューマン、実世界情報処理、物理エージェント、知能化空間
61060	〔感性情報学関連〕 感性デザイン学、感性認知科学、感性心理学、感性ロボティクス、感性計測評価、感性インタフェース、感性生理学、感性材料科学、感性教育学、感性脳科学
90010	〔デザイン学関連〕 情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育
90030	〔認知科学関連〕 認知科学一般、認知モデル、感性、ヒューマンファクターズ、脳認知科学、比較認知、認知言語学、認知工学

中区分62：応用情報学およびその関連分野

小区分	キーワード
62010	〔生命、健康および医療情報学関連〕 バイオインフォマティクス、生命情報、生体情報、ニューロインフォマティクス、脳型情報処理、生命分子計算、DNAコンピュータ、医療情報、健康情報、医用画像
62020	〔ウェブ情報学およびサービス情報学関連〕 ウェブシステム、ソーシャルウェブ、セマンティックウェブ、ウェブマイニング、社会ネットワーク分析、サービス工学、教育サービス、医療サービス、福祉サービス、社会サービス
62030	〔学習支援システム関連〕 メディアリテラシー、学習メディア、ソーシャルメディア、学習コンテンツ、学習管理、学習支援、遠隔学習、eラーニング
62040	〔エンタテインメントおよびゲーム情報学関連〕 音楽情報処理、3Dコンテンツ、アニメーション、ゲームプログラミング、ネットワークエンタテインメント、メディアアート、インタラクティブアート、デジタルアーカイブズ、デジタルミュージアム、情報文化
90020	〔図書館情報学および人文社会情報学関連〕 図書館学、情報サービス、情報組織化、情報検索、情報メディア、計量情報学、情報資源、情報倫理、人文情報学、社会情報学

大区分K

中区分63：環境解析評価およびその関連分野

小区分	キーワード
63010	〔環境動態解析関連〕 地球温暖化、環境変動、水・物質循環、極域、化学海洋、生物海洋、環境計測、環境モデル、環境情報、リモートセンシング
63020	〔放射線影響関連〕 放射線、測定、管理、修復、生物影響、リスク
63030	〔化学物質影響関連〕 トキシコロジー、人体有害物質、微量化学物質、内分泌かく乱物質、修復

(大区分K)

63040	〔環境影響評価関連〕 大気圏、水圏、陸圏、健康影響評価、社会経済影響評価、次世代影響評価、環境アセスメント、評価手法、モニタリング、シミュレーション
-------	---

中区分64：環境保全対策およびその関連分野

小区分	キーワード
64010	〔環境負荷およびリスク評価管理関連〕 環境分析技術、環境負荷解析、調査モニタリング、汚染質動態、モデリング、汚染質評価、暴露評価、毒性評価、リスク評価管理、化学物質管理
64020	〔環境負荷低減技術および保全修復技術関連〕 汚染物質除去技術、廃棄物処理技術、排出発生抑制、適正処理処分、環境負荷低減、汚染修復技術、騒音振動対策、地盤沈下等対策、生物機能利用、放射能除染
64030	〔環境材料およびリサイクル技術関連〕 循環再生材料、有価物回収、分離精製高純度化、環境配慮設計、リサイクル化学、グリーンプロダクション、ゼロエミッション、資源循環、再生可能エネルギー、バイオマス利活用
64040	〔自然共生システム関連〕 生物多様性、保全生物、生態系サービス、自然資本、生態系影響解析、生態系管理、生態系修復、生態工学、地域環境計画、気候変動影響
64050	〔循環型社会システム関連〕 物質循環システム、物質エネルギー収支解析、低炭素社会、未利用エネルギー、地域創生、水システム、産業共生、ライフサイクル評価、統合的環境管理、3R社会システム
64060	〔環境政策および環境配慮型社会関連〕 環境理念、環境法、環境経済、環境情報、環境教育、環境社会活動、環境マネジメント、合意形成、安全安心、社会公共システム、持続可能発展

科研費の公募・審査の在り方を抜本的に見直し、 多様かつ独創的な学術研究を振興する

現行の審査システム

最大400余の細目等で公募・審査

※細目数は321、応募件数が最多の「基盤研究(C)」はキーワードによりさらに細分化した432の審査区分で審査。

基盤研究(S)
基盤研究(A) (B) (C)
挑戦的萌芽研究
若手研究(A) (B)

○すべての研究種目で、細目ごとに同様の審査を実施。

○書面審査と合議審査を異なる審査委員が実施する2段審査方式。

「分科細目表」を廃止

新たな審査システムへ移行

新しい区分表と審査方式

平成30年度助成（平成29年9月公募予定）～

大区分(11)で公募
中区分を複数集めた審査区分

基盤研究(S)

中区分(65)で公募

小区分を複数集めた審査区分

基盤研究(A)

若手研究(A)※1

※1 平成30年度公募以降見直し予定

小区分(304)で公募

これまで醸成されてきた多様な学術
に対応する審査区分

基盤研究(B)

(C)

挑戦的萌芽研究※2

若手研究(B)

※2 平成29年度公募から後継種目を導入

「総合審査」方式 ーより多角的にー
個別の小区分にとらわれないことなく審査委員全員が書面審査を行ったうえで、同一の審査委員が幅広い視点から合議により審査。
※基盤研究(S)については、「審査意見書」を活用。

・特定の分野だけでなく関連する分野からみ
て、その提案内容を多角的に見極めること
により、優れた応募研究課題を見出すことが
できる。

・改善点(審査コメント)をフィードバックし、研
究計画の見直しをサポート。

「2段階書面審査」方式 ーより効率的にー
同一の審査委員が電子システム上で2段階に
わたり書面審査を実施し、採否を決定。

・他の審査委員の評価を踏まえ、自身の評価
結果の再検討。

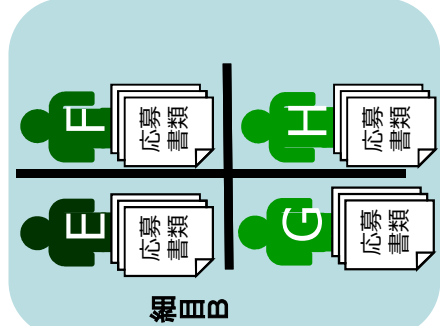
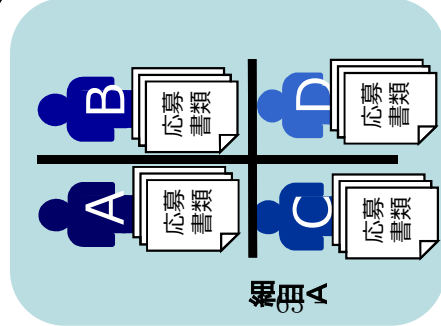
・会議体としての合議審査を実施しないため審
査の効率化。

科研費の審査方式の見直し(新旧比較)

【現行】(2段階審査方式)

書面審査 (細目ごと)

- ・1 課題あたり、4名又は6名の審査委員が書面審査を電子システム上で個別に実施。

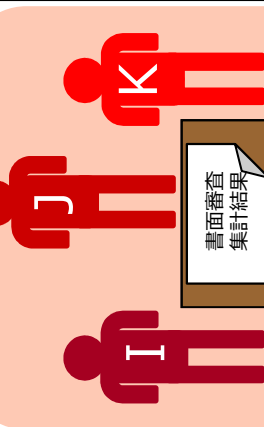


合議審査 (〇〇小委員会)

- ・3~5名程度の審査委員が書面審査結果に基づき、分科ごと(人・社系は細目ごと)のグループで合議審査を実施し、採否を決定。

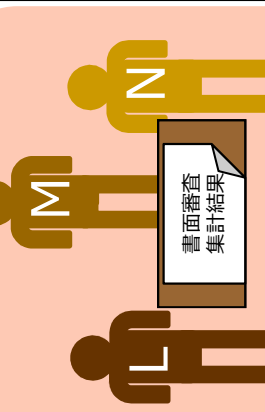
<〇〇小委員会>

グループ (1)



※書面審査と別の審査委員

グループ (2)



※書面審査と別の審査委員

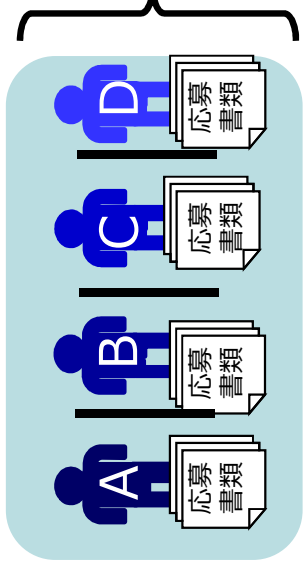
グループごとの合議審査後、小委員会として採否を決定

【見直し後】

①2段階書面審査(小区分)

1 段階目の書面審査 (小区分ごと)

- ・1 課題あたり、「小区分」ごとに配置された複数の審査委員が電子システム上で書面審査を(相対評価)を実施。

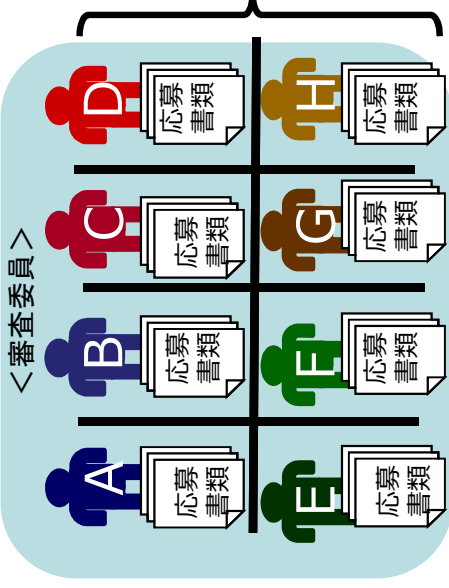


<電子システム>
(1段階目の書面審査の結果)
・ポータル付近の研究課題
・他の審査委員の審査意見

②総合審査(中区分、大区分)

書面審査 (中区分、大区分ごと)

- ・1 課題あたり、より幅広い分野にわたって(「中区分」ごと)配置された複数名の審査委員が電子システム上で書面審査(相対評価)を実施。

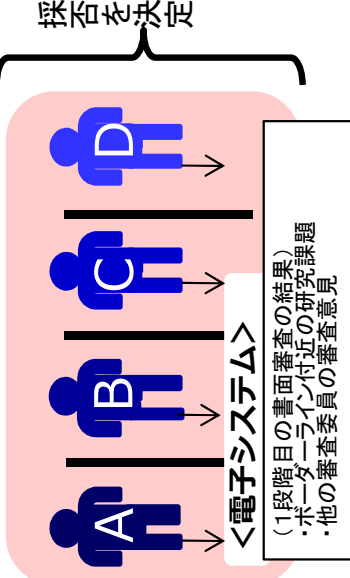


<審査委員>

書面審査 結果

2 段階目の書面審査 (小区分ごと)

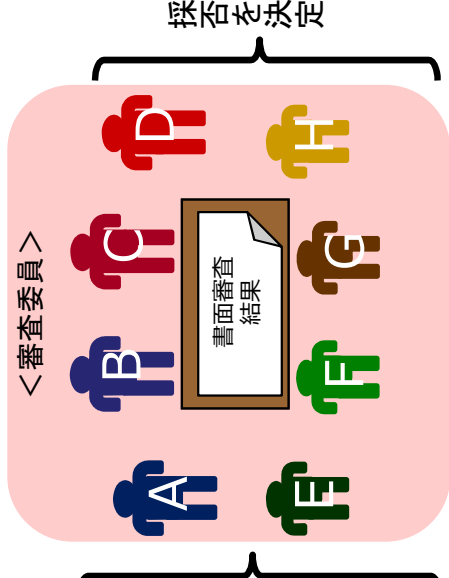
- ・1 段階目の書面審査の集計結果をもとに、他の委員の審査意見も参考に電子システム上で2段階目の採点を付し、採否を決定(審査委員は1段階目と同一)。



<電子システム>
(1段階目の書面審査の結果)
・ポータル付近の研究課題
・他の審査委員の審査意見

合議審査 (中区分、大区分ごと)

- ・書面審査の集計結果をもとに、書面審査と同一の審査委員が合議によって多角的な審査を実施し、採否を決定。



<審査委員>

採否を決定

科研費改革の見直し

—審査システム・研究種目の見直し等—

別紙⑤

助成年度 研究種目	平成28年度	平成29年度 (平成28年9月公募予定)	平成30年度 (平成29年9月公募予定)	平成31年度 (平成30年9月公募予定)
特別推進研究	研究種目の見直し (挑戦性の重視、受給回数制限等)			新制度へ移行
新学術領域研究		平成31年度以降の制度改革に向け、研究種目の見直し		
基盤研究 (S)		「審査システム改革2018」	大区分 +	新制度へ移行
基盤研究 (A)			総合審査	
若手研究 (A)	研究種目の見直し (基盤研究への位置付け等)		中区分 +	新審査システムへ移行
基盤研究 (B)	新審査システムの詳細設計		総合審査	
基盤研究 (C)			小区分 +	新審査システムへ移行
若手研究 (B)			2段階 書面審査	
挑戦的萌芽研究	研究種目の見直し (大型化・長期化、総合審査の先行実施等)			新制度へ移行

補助金

基金(※)

※これらの取組と併せて基金措置の対象範囲の拡大などを推進

「系・分野・分科・細目表」の見直し並びに「時限付き分科細目」及び「特設分野」
の設定に当たっての基本的考え方（抜粋）

平成 25 年 10 月 8 日
科学技術・学術審議会学術分科会
科学研究費補助金審査部会決定

（はじめに）

- 「系・分野・分科・細目表」（以下「分科細目表」という。）は、基盤研究等の審査希望分野の分類表として厳正かつ効率的な審査を実施する上で重要な役割を担っている。また、「時限付き分科細目」（以下、「時限細目」という。）は、平成3年度から、学術研究の動向に柔軟に対応するため、設定期間を限って流動的に運用されているもので、分科細目表の別表として設けられている。更に、平成26年度からは、①未開のまま残された重要な分野、②技術の長足な進歩によって生まれつつある分野、③分野横断的な研究から生まれることが期待される分野を対象とした審査区分「特設分野研究」が設けられている。（分科細目表のこれまでの主な変遷については「別添1」参照）
- 分科細目表の見直し並びに時限細目及び特設分野の設定は、学術コミュニティからの要望や独立行政法人日本学術振興会の学術システム研究センターの学術動向調査の結果等を踏まえて行うものとする。
- 分科細目表の本来の役割は、科研費の審査希望分野の分類表であるが、研究者からは我が国の学問分野を分類し設定するもの、また一旦細目として設定されると当該分野への研究費が保証されるものと受け止められている傾向があり、その認識が見直しのたびに細目数が増える大きな要因となっている。今後、見直しに当たっては、分科細目表が我が国の学問分野を分類し設定するものではないことを明確にしていく必要がある。
- 分科細目表の見直しに当たって、応募件数以外に参考とすべき当該分野のアクティビティを評価することのできる指標について積極的に検討し、将来的に活用できるようにする。

（基本的事項）

1. 分科細目表の見直しについて

(2) 大幅な見直しに関すること

- ・5年に一度は大幅な全体の見直しを行う。特に、次回の5年に一度の大幅な全体の見直し（平成30年度公募から適用）に当たっては、細目数の大幅な減少を検討する。（「別添2」参照）

- ・分科細目表が我が国の学問分野を分類し設定するものではないことを明確にするため、名称の変更も検討する。

1. 分科細目表の見直しについて

(2) 大幅な見直しに関すること

現在の分科細目表には、次のような課題等があると考えられる。

(課題等)

- ・これまで分科細目表の細目数は、改正のたびに増え続け、審査の精度向上の観点から考えると細分化を評価することもできるが、一方で、細分化が進むことで、既存の学問分野に立脚した研究のみが深化し、新たな研究分野や異分野融合の研究は応募しにくいのではないか。
- ・分科細目表は、いかに審査を公平・公正に行うかという観点でこれまで見直しが行われてきているが、今後は、学術動向の変遷に即した審査を行うために適したものとなっているか、また、これまでの分野の枠に収まらずに新たに伸びていく研究を見いだせるか、という観点で見直していく必要があるのではないか。
- ・応募状況以外に細目・キーワード設定の妥当性を判断する方策がないため、定量的な面にのみ着目した見直しとなり、結果的に細目が増えることになっているのではないか。
- ・理想的な審査方式の検討も併せて見直していく必要があるのではないか。

については、次回の5年に一度の大幅な全体の見直しへの反映を目指し、以下の点に留意の上検討を行う。

- ・現行表との連続性・整合性等に配慮した調整を行いつつも、現行表を前提とすることなく、学術の動向を踏まえた理想的な在り方に関する検討を踏まえつつ、抜本的な見直しを行う。このため、日本学術振興会における検討は、現在の分科細目表の分野単位ではなく、総合系、人文社会系、理工系、生物系の4系単位で進めることを基本とする。

※ なお、現在、基盤研究（A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B）は、すべて二段審査制（細目単位で第一段（書面審査）を行い、分科単位（人文社会系は細目単位）で審査委員を配置した委員会で第二段（合議審査）を行う。）をとっているが、各研究種目の性格、応募総額、応募件数等を踏まえ、科研費制度全体のあり方を検討する中で、各研究種目の特性に応じた審査体制や審査方法も別途検討する。

「系・分野・分科・細目表」のこれまでの主な変遷

【昭和 42 年度までの状況】

- ・審査委員会の構成は、旧東京帝国大学の学部構成そのままに、第 1 部（文学）から始まって第 7 部（医学）までの 7 部構成（文学、法学、経済学、理学、工学、農学、医学）で、これは当時の日本学術会議の部会構成と全く同じであり、120 人程度の審査委員から構成されていた。
- ・各専門分科の審査はほとんどが 1 人で行われ、審査後、どのような基準で配分審査がなされたかを検証しようにも、それができる状況になく審査委員会の運営の面からも問題があった。
- ・こうしたことから、優れた独創的な研究を育成するために、はっきりした審査基準により、書面による審査と合議による審査の二段審査制の検討が行われ、その際参考としたのが、米国 NSF が行っていた審査方法であった。

【昭和 43 年度から平成 4 年度までの状況】

- ・昭和 43 年度の改善において、審査がやりやすいようにとの方針で、伝統的な学問分類法を基礎に、新しい研究の展開にも配慮するという基本線でまとめられ、各細目に原則として 3 人の審査委員を配置することとなった。
- ・これにより、1 人で 1 つの専門分野を審査していた、以前の 120 人体制に比べると、審査が格段に公正に行われるばかりでなく、書面審査のために地方の大学の教授も多数審査に関わることが期待できるようになった。また、第 1 段の審査結果が悪ければ第 2 段審査委員による個人的採択もできない仕組みになるメリットがあった
- ・分科細目は、その分野に対する学問的認知と一定の研究投資が保証されると研究者サイドには受け止められていた。
- ・このため、分科細目表から消えることは学問研究の灯が消されるに等しく、その改正には利害得失論が先に生じて、分科細目の改善は容易に進まない状況に置かれていたが、例えば、細目の新設は、当該分野の申請件数が 300 件を超えることがある程度の確度で予想されること、第 2 段審査委員の増員は 800 件を超える申請件数が現にあることなどに一応の基準をおいて対応していた。
- ・また、平成 3 年度からは、学術研究の急速な進展に応じて「時限付き分科細目」（以下、「時限細目」）を設けて従来の分科細目表に風穴を開けている。

【平成 5 年度以降の状況】

- ・分科細目表の分類が、伝統的な学問体系の区分で固定化し、それにとらわれ過ぎて新しく展開されつつある分野が依然として谷間にあったことから、平成 5 年度公募から適用した分科細目表については大幅な改正を行うこととした。
- ・平成 5 年度の改正以降、5 年毎に見直しを行い、そのうち 10 年に 1 度は大改正を行うこととしている。また、平成 15 年度の改正までは、文部科学省が全ての改正に係る業

務を行っていたが、平成 20 年度の改正からは、具体的な改正案の作成は日本学術振興会が行い、その改正案に基づき科学研究費補助金審査部会が決定することとしている。

【細目数の推移（30 年間）】

年度（西暦）	細目数（5 年前からの増数）	主な改正内容等
昭和 58 年度（1983 年）	1 9 1	
昭和 63 年度（1988 年）	1 9 9（+ 9）	
平成 5 年度（1993 年）	2 3 2（+33）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 部構成を維持しつつ細目の新設・分割等を実施 ・ 「複合領域」の細目数を倍増（17→34）
平成 10 年度（1998 年）	2 4 2（+10）	
平成 15 年度（2003 年）	2 7 8（+36）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 部構成から 4 系構成に変更 ・ 「複合領域」の見直し（「総合・新領域系」の創設）
平成 20 年度（2008 年）	2 8 4（+ 6）	
平成 25 年度（2013 年）	3 1 9（+35）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「総合・新領域系」の見直し（「総合系の創設」 ・ 3 系（人社・理工・生物）に総合領域分野を創設
平成 26 年度（2014 年）	3 2 1	・ 「観光学」、「医学物理学・放射線技術学」を追加

平成 30 年度公募から適用する「系・分野・細目表」（仮称）のイメージ

○細目数の目安

- ・現在の細目数（321）の 2 分の 1 程度（160 前後）を目安として検討を進める。

※30 年前（昭和 58 年度）には既に 191 細目があった。今回の見直しは、将来の我が国の学術研究の振興のために極めて重要な見直しであり、新たな研究分野や異分野融合の研究を積極的に推進し、研究のグローバル化に対応するため、現在の半分程度の細目数を目安とする。

○具体的な検討方法等

- ・現在の分科細目表の名称は、「系・分野・分科・細目表」で、分野区分が 4 段階になっている。平成 30 年度公募からは「系・分野・細目表（仮称）」（以下、「細目表」という。）とし 3 段階としてはどうか。現在の「細目」をキーワード一覧に整理し、更に細目数を大幅に減らすと、「分科」と「細目」を分けておく必要がなくなる。（細目表をシンプルにする）。
- ・細目表の名称については、過去のしがらみ（科研費の審査希望分野の分類表という本来の役割に加え、我が国の学問分野を分類し設定するものとして研究者から受け止められていること）を払拭するのであれば、例えば、「審査希望分野表」とし、分野の区分名称である「系」、「分野」、「細目」は、「大区分」、「中区分」、「小区分」などの名称にすることも検討する。
- ・現在の「細目」は、基本的にキーワード一覧として整理する。（第一段審査委員の配置単位とする）
- ・現在「分科数」は 79 ある。細目表においては、現在の「分科」レベルの分野を「細目」とする。（設定数の目安 160 前後）。（第二段審査委員の配置単位とする）
- ・現在「分野数」は 14 ある。細目表においては、現在の各系の分野数を目安とする。
- ・細目表のイメージは「別紙」参照。新たな細目数は、平成 25 年度の各系の応募件数の割合に応じて割り振ったもので、あくまで目安であり、系毎の細目数の増減は柔軟に行えるが、全体の細目数は増やさない。

○系・分野・細目表(イメージ)

系	分野数の目安	細目数の目安	備考
総合系	3分野程度を目安とする。	総合系全体で25細目を目安とする。	
人文社会系	3分野程度を目安とする。	人文社会系全体で30細目を目安とする。	

系	分野数の目安	細目数の目安	備考
理工系	4分野程度を目安とする。	理工系全体で35細目を目安とする。	
生物系	4分野程度を目安とする。	生物系全体で68細目を目安とする。	

平成28年3月17日

科学研究費助成事業（科研費）審査システム改革2018（報告）

独立行政法人日本学術振興会

【改革にあたっての基本姿勢】

学術研究は、多様な「知」の創造を目指すものである。また、「知」の限界に挑み、未踏の分野を開く営みは、研究者自身の自由で柔軟な思考と斬新な独創的発想に基づく知的創造力を最大限に発揮することによってのみなし得るものである。したがって、何ものにも束縛されない発想の自由こそが、学術研究の基本である。

学術研究に取り組む人材の多くは、科学研究費助成事業（科研費）によって育てられている。さらに科研費によって支援された研究成果は、我が国のみならず、全人類の「知の創造と蓄積」とに大きく貢献している。それはなによりも、科研費制度が研究者自身の知的創造力を最も重要な要素として尊重してきたからに他ならない。

科研費の審査にあたっては、提案の創造性、独自性、実行可能性を判断しなければならない。したがって、学術研究の現場で切磋琢磨し「知の創造」の最前線を知る研究者が審査、評価するシステム（ピアレビュー）が、学術研究審査の世界標準となっている。

科研費の審査は、「系・分野・分科・細目表」（細目表）に基づいて行われている。この細目表は、本来、科研費の審査区分を示すものであり、大学の学科や学会の分野などに基づいているものではない。しかし、学術の分類を示すものであるかのような誤解が一部に存在する。細目表が科研費の審査区分であることを明確にするために、現行の細目表を廃止し、科研費の新たな審査区分表を作成することとした。

新たな審査区分表の作成にともない、研究種目に応じた審査方式の見直しを行うこととした。

この改革は、科研費の審査制度の不断の改善の一環である。したがって、一定期間後の再評価とともに、学術動向や研究環境の変化に応じて、適切に改革を進めるべきことを付け加える。

－改革の骨子－

個人の自由な発想に基づく多様な学術研究の一層の振興を図る観点から、科研費の審査をより適切にするために、以下のように科研費審査システムの見直しを行った。

- 平成30年度科研費（平成29年9月に公募予定）からの審査は、「小区分・中区分・大区分」で構成される新しい審査区分で行う。それに伴い、現行の細目表は廃止する。
- 基盤研究（B,C）、若手研究（B）および挑戦的萌芽研究の審査は304の「小区分」で行い、「2段階書面審査」により採否を決定する。
- 基盤研究（A）および若手研究（A）の審査は65の「中区分」で行い、「総合審査」により採否を決定する。
- 基盤研究（S）の審査は11の「大区分」で行い、「総合審査」により採否を決定する。
- これらは、学術の振興のための科研費審査システムの改革の第一歩であり、不断の改善を継続する。

1. 科研費審査の改革にあたって

科研費は、人文学、社会科学から自然科学までのすべての領域において、既存の分野のみならず勃興する新たな分野においても研究者の自由な発想に基づく学術研究を支援する競争的資金である。その審査は、研究者が建設的相互批判の精神に則って相互に審査しあうピアレビューを基本としており、研究者の不断の努力によって支えられている。

現行の基盤研究等の審査制度は膨大な応募件数を迅速に審査する公正かつ適切な仕組みであり、研究者から大きな信頼を得ている。しかし、科研費への応募件数は年々増加し、その応募動向も徐々に変化しつつある。このような状況にあって、審査の在り方や審査区分についての改善が求められている。また、変化する学術動向に対応し、競争的環境の下で、優れた研究課題を見出すことができるように審査方式の改革も求められている。

科研費が我が国の大学、研究機関における研究基盤を根本的に支えている現状を踏まえ、研究者自身が主体的に審査システムの改善のため、その改革に取り組むことは、学術の一層の振興のために不可欠であり、また、研究者が社会に対して果たさなければならない基本的責務である。

このような状況を踏まえ、平成 30 年度科研費（平成 29 年 9 月に公募予定）に向けて、審査区分および審査方式の見直しを行った。

2. 科研費審査の改革の具体的内容

2-1. 基盤研究（B,C）等の審査区分（小区分）および審査方式について

- 基盤研究（B,C）、若手研究（B）および挑戦的萌芽研究のように現行 1 細目当たりの応募件数が多い研究種目については、学術の多様性に配慮し、これまでに醸成されてきた多様な学術に対応する審査区分として 304 の小区分を設定した。その際、小区分が固定化されたものではなく、研究の新たな展開や多様な研究の広がりにも柔軟に対応できるよう、それぞれの小区分は、「○○関連」とし、応募者に選択の自由度を確保した。キーワードも、それぞれの区分の内容を網羅しているものではなく、応募者の選択の参考のためのものである。なお、応募件数が極端に多い小区分では、複数の審査グループを設け、応募研究課題をランダムに振り分ける「機械分割」を行う。
- 小区分では 2 段階書面審査により採否を決定する。1 段階目では、全ての応募研究課題を審査評価する。この結果に基づきボーダーライン付近となった研究課題について、同一の審査委員が改めて 2 段階目の評点を付す。その際、当該小区分の全ての審査委員の審査意見（1 段階目）等を参考とする。

2-2. 基盤研究（A）等の審査区分（中区分）および審査方式について

- 基盤研究（A）および若手研究（A）については、より広い分野の競争的環境下で優れた研究課題の選定ができるよう、いくつかの小区分を集めて 65 の中区分を設定した。
- 中区分の設定にあたっては、学術の多様性に配慮しつつ、相対評価ができることを基本とし、総合的な観点からの適切な審査ができることに留意した。各中区分においては、中区分に含まれている小区分の内容だけに縛られないことを示すために、「○○およびその関連分野」との説明を付した。したがって、応募者は自らの判断で、小区分にとらわれず中区分を選択できる。

- 中区分では総合審査により採否を決定する。総合審査においては、個別の小区分にとらわれることなく優れた研究課題が選定されるよう、審査委員全員が全ての応募研究課題について書面審査を行なったうえで、同一の審査委員が合議審査の場で各応募研究課題について幅広い視点から議論により審査する。これにより、特定の分野だけでなく関連する分野からみて、その提案の創造性、独自性、実行可能性を多角的に見極めることにより、優れた応募研究課題を見出すことができると期待される。なお、応募件数が多い場合には、総合審査ができる件数となるよう機械分割する。

2-3. 基盤研究 (S) の審査区分 (大区分) および審査方式について

- 基盤研究 (S) については、いくつかの中区分を集めた 11 の大区分を設定した。これにより、適切な審査が可能で、競争的環境下で優れた研究課題の選定が期待される。
- 大区分においては、広い範囲の学術領域において審査することとなるため、総合審査を採用するとともに、応募件数が多い場合には、総合審査が可能な件数となるよう機械分割する。なお、審査の過程においては、専門性に配慮するため、専門分野に近い研究者が作成する審査意見書を活用する。

3. 実施予定

本審査システムは、平成 30 年度科研費（平成 29 年 9 月に公募予定）より適用する。

